

公益財団法人印旛郡市文化財センター

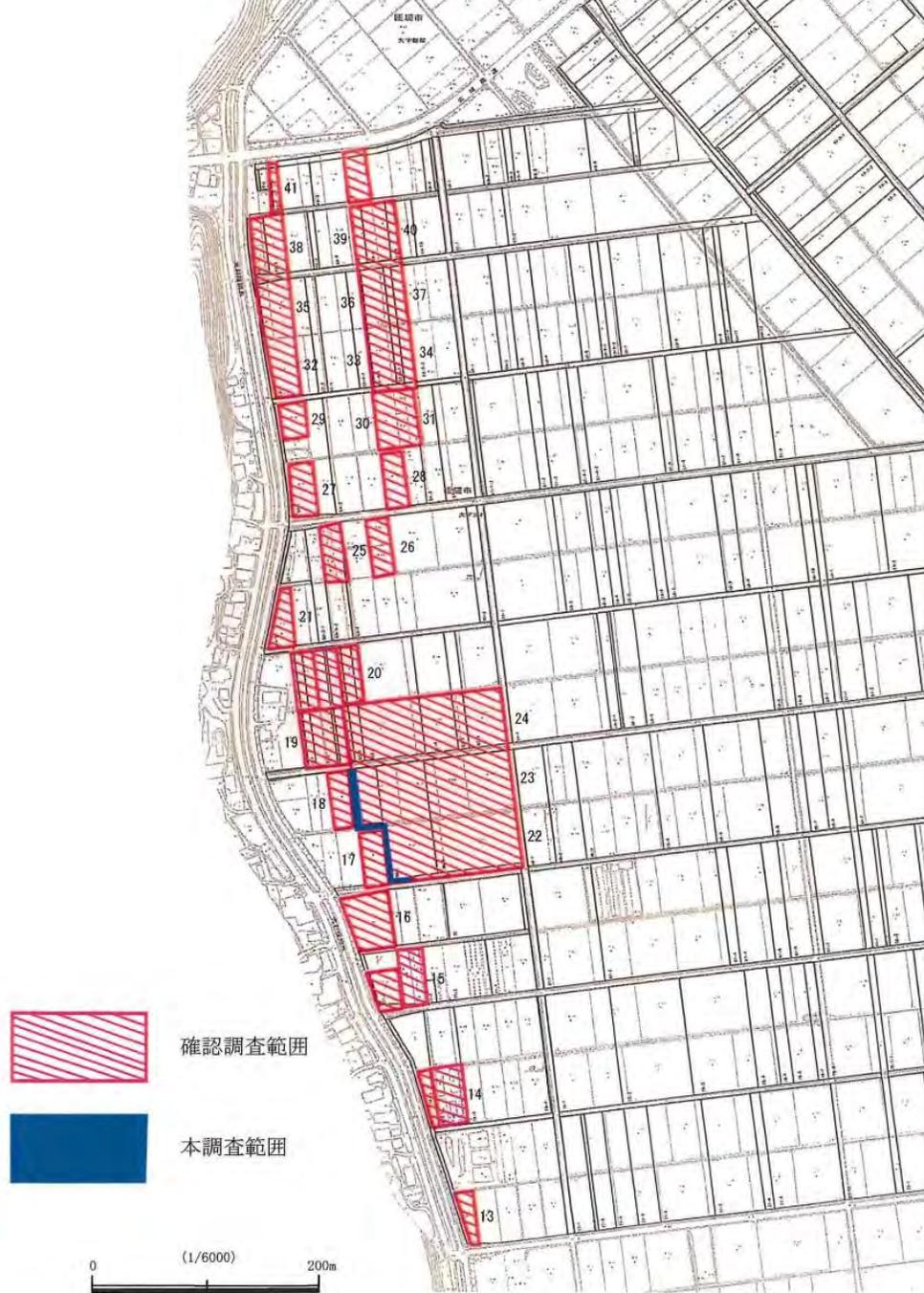
第19回遺跡発表会

事例報告

匝瑳市多古田低地遺跡の発掘調査

遺跡の位置

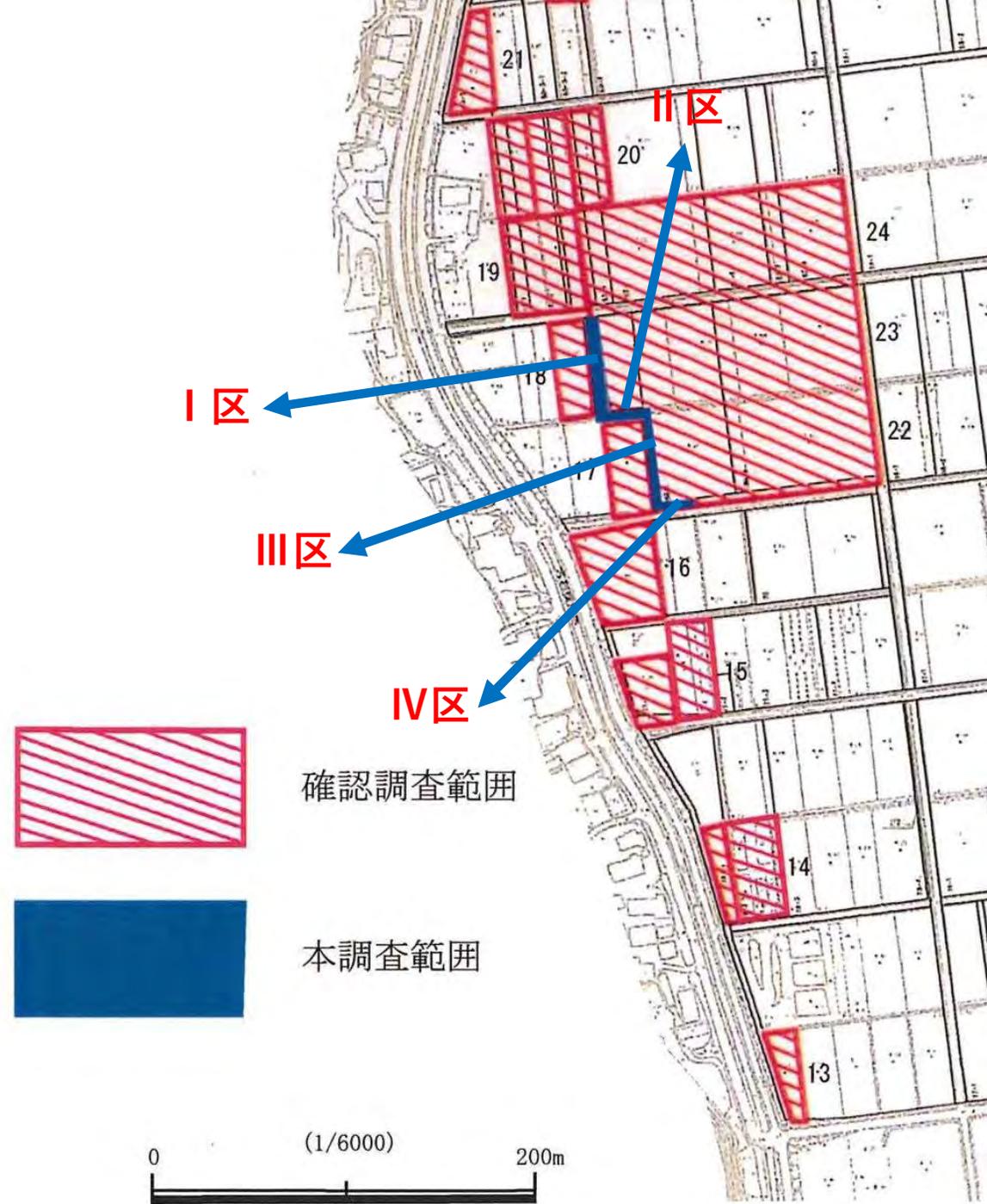




今回の調査地点



慶応大学調査地点



I区

II区

III区

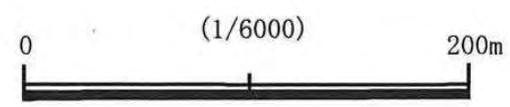
IV区



確認調査範囲



本調査範囲



調査状況



調査前風景



表土除去



表土層 (耕作土)

黒色土

暗褐色土 (泥炭層)

灰褐色土 (シルト層)

青灰色土 (シルト層)

土層堆積と遺物出土状況

出土遺物

— 土 器 —

深鉢（中段～上段）



浅鉢

釣手土器

浅鉢

注口土器

浅鉢



三十稻場式



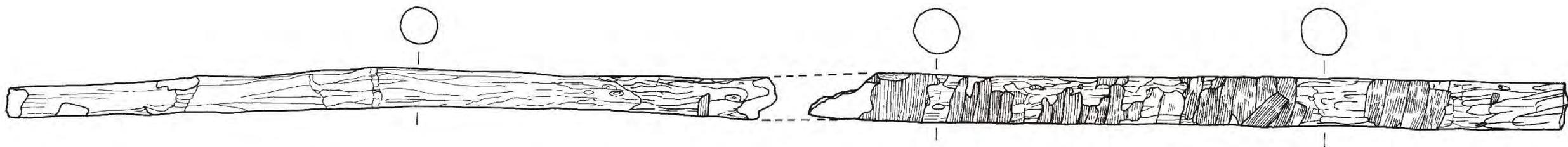
注口土器
大洞BC式

多古田低地遺跡で出土した土器とその年代

| 時期 | 土器型式 | 年代 | 主な出土地 | | |
|----|------------------|---------|-------|-------|-------|
| 早期 | 撚糸文系 | 9,000年前 | 関東 | | |
| | 沈線文系 | 8,000年前 | 関東 | | |
| | 条痕文系 | 7,000年前 | 関東 | | |
| 前期 | 関山式・黒浜式・浮島式・下小野式 | 6,500年前 | 関東 | | |
| 中期 | 加曾利E式 | 5,000年前 | 関東 | | |
| 後期 | 称名寺式 | 4,700年前 | 関東 | 土器型式 | 主な出土地 |
| | 堀之内式 | 4,500年前 | 関東 | 三十稻場式 | 東北地方 |
| | 加曾利B式 | 3,800年前 | 関東 | | |
| | 曾谷式 | 3,500年前 | 関東 | | |
| | 安行1式 | 3,600年前 | 関東 | | |
| | 安行2式 | 3,500年前 | 関東 | 土器型式 | 主な出土地 |
| 晚期 | 安行3a式 | 3,300年前 | 関東 | 大洞BC式 | 東北地方 |
| | 安行3b式 | 3,200年前 | 関東 | | |
| | 安行3c式 | 3,000年前 | 関東 | 土器型式 | 主な出土地 |
| | 前浦式 | 2,900年前 | 関東 | 大洞C2式 | 東北地方 |

出土遺物

— 丸木舟以外の木製品 —



弓



外面



内面

木胎漆器 (碗)



外面

内面



木胎漆器
(鉢)



不明木製品（繩梯子？）

丸木舟について



多古町コミュニティプラザの丸木舟

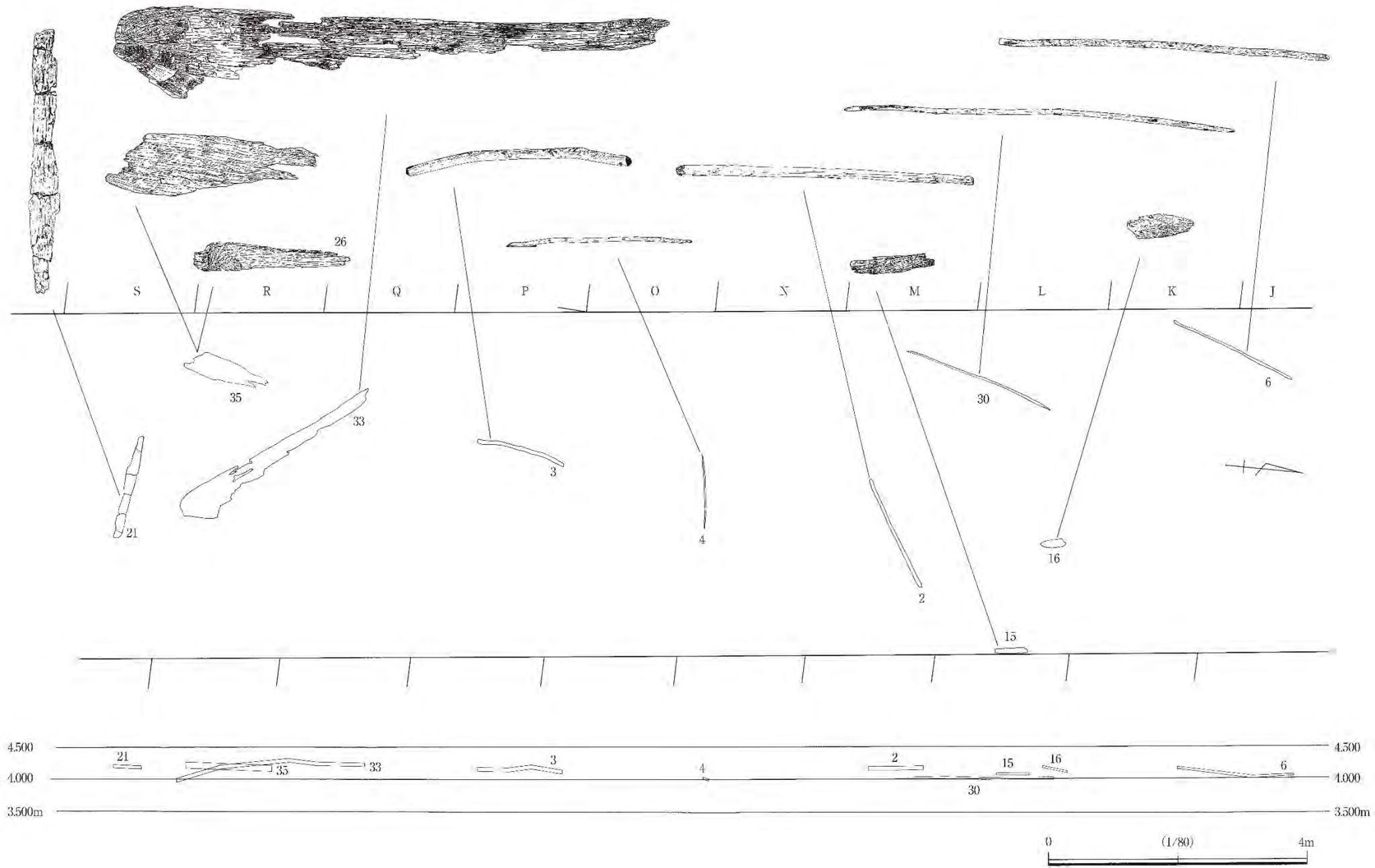


千葉県指定有形文化財（匝瑳市）

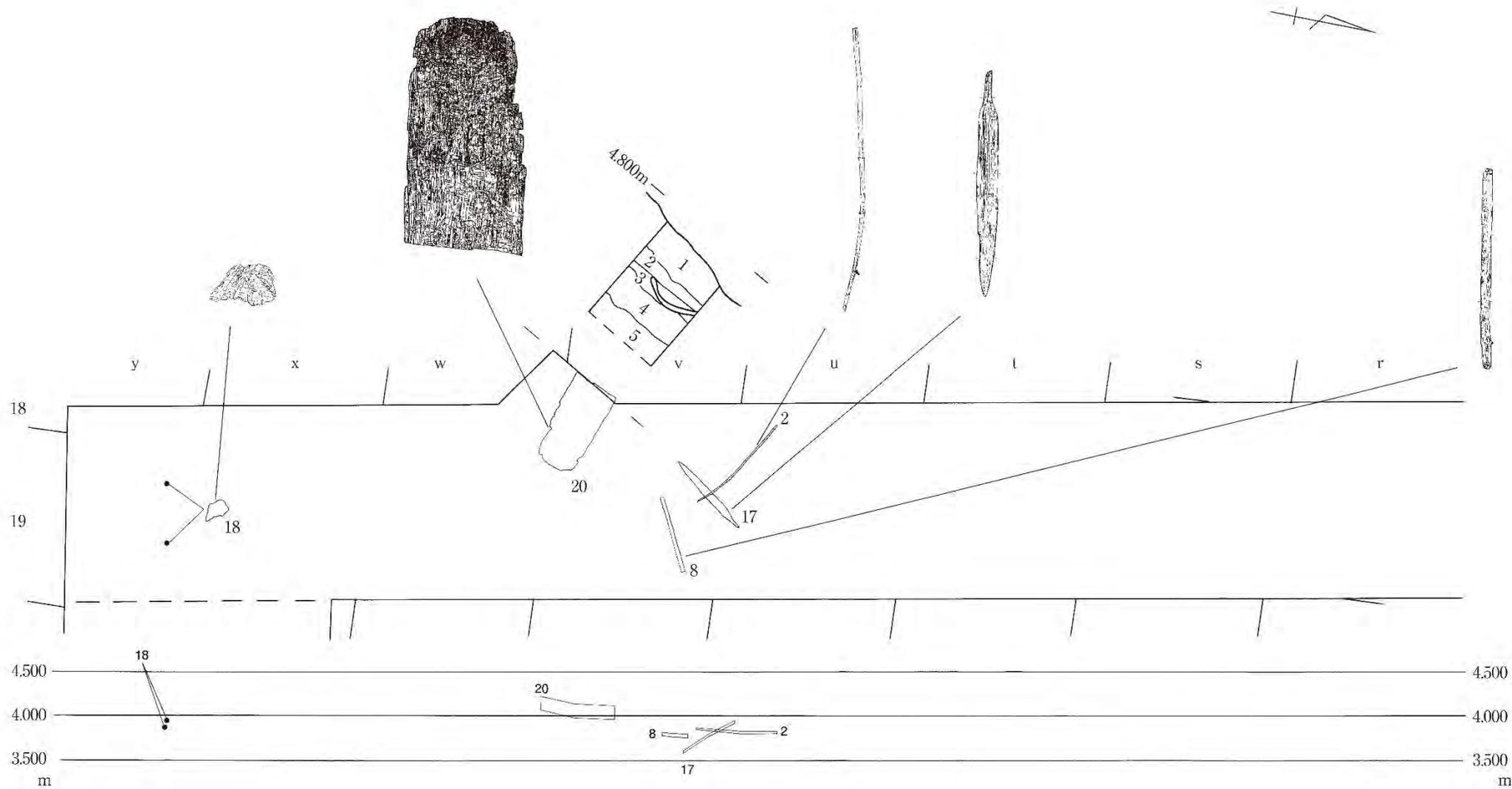
多古田低地遺跡の丸木舟



川区丸木舟 出土状況

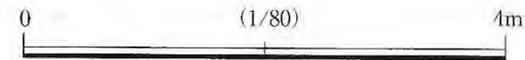


I 区木製品出土状況

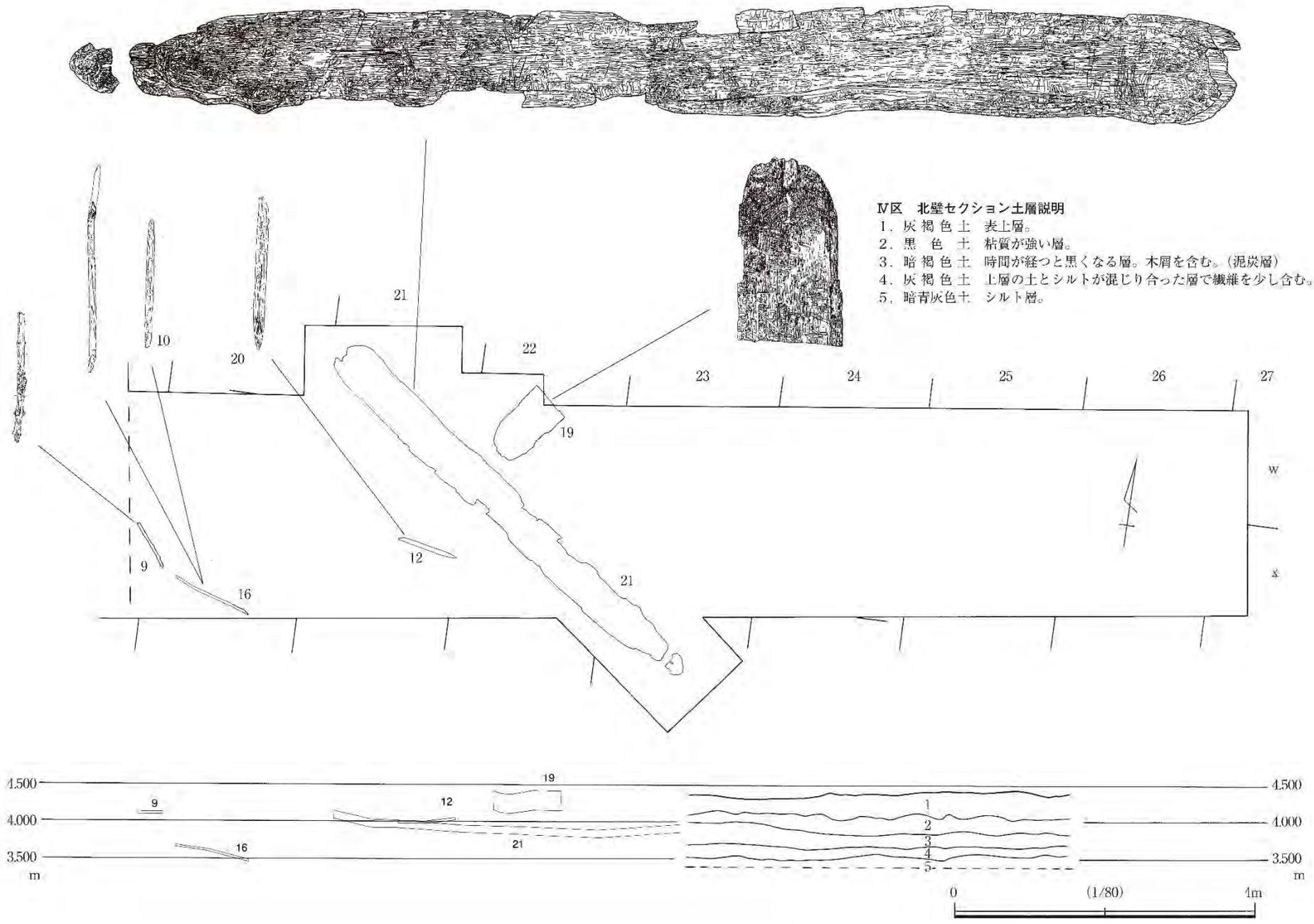


Ⅲ区 西壁セクション土層説明

1. 灰茶褐色土 粘質土の畦畔（クロ）。
2. 黒色土 木屑を多く含み下層に砂が水平に見られる。
3. 暗褐色土 泥炭層で木屑を含み丸木舟を止めている。（泥炭層）
4. 灰褐色土 栗色をしているのは削った直後で時が経つと黒色となる土層。木屑の少ない繊維を含んだ粘質層。
5. 暗青灰色土 明るいシルト層で砂、少量の繊維を含む。



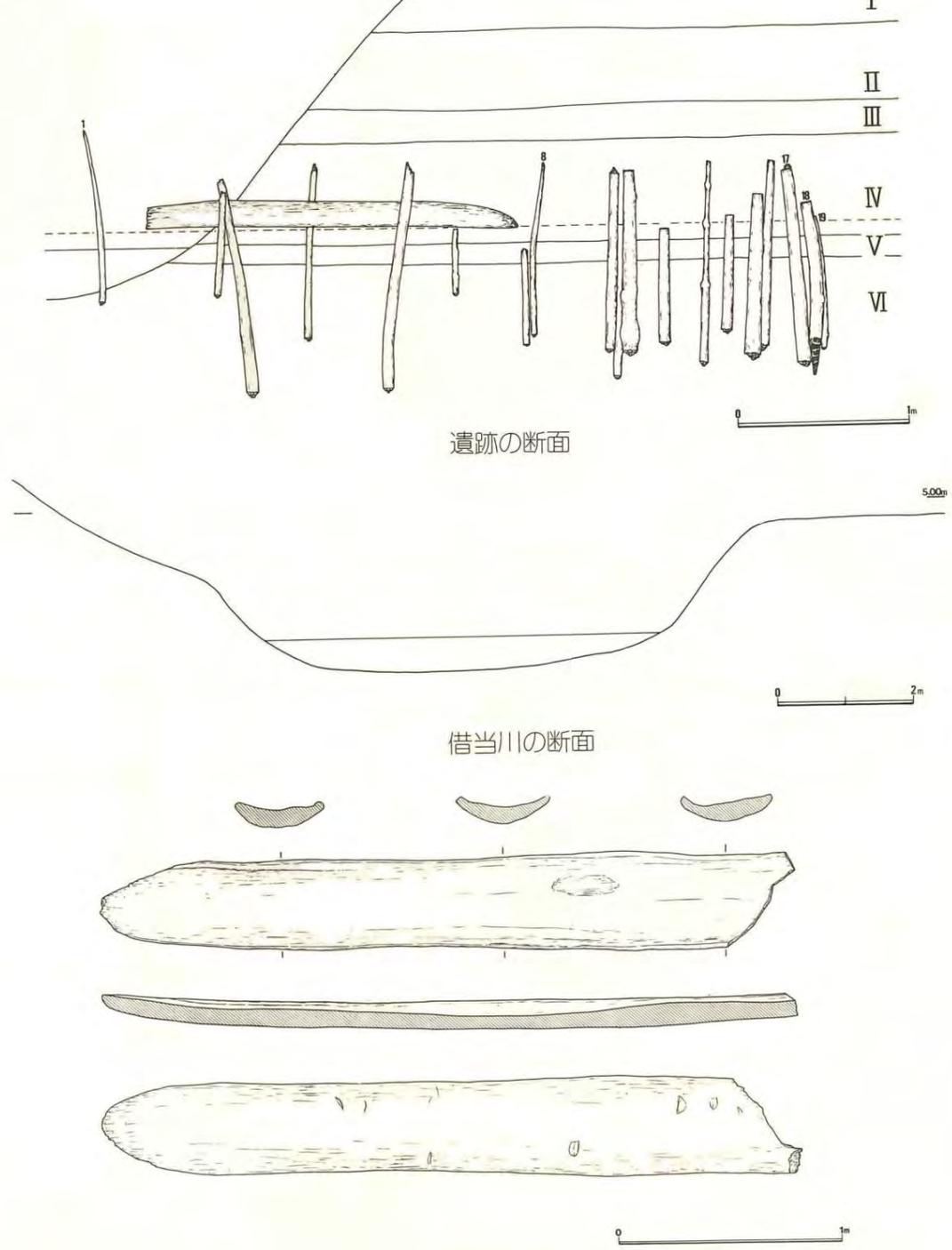
Ⅲ区木製品出土状況



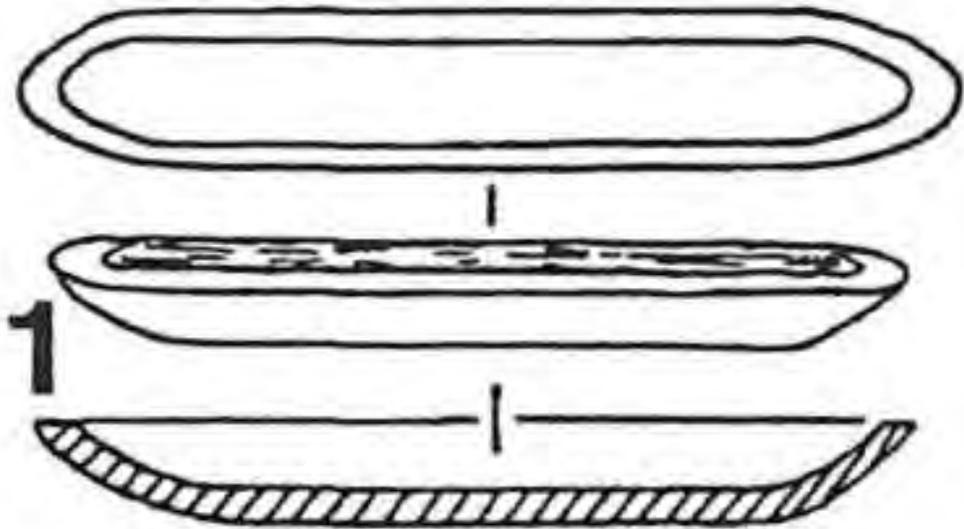
IV区木製品出土状況



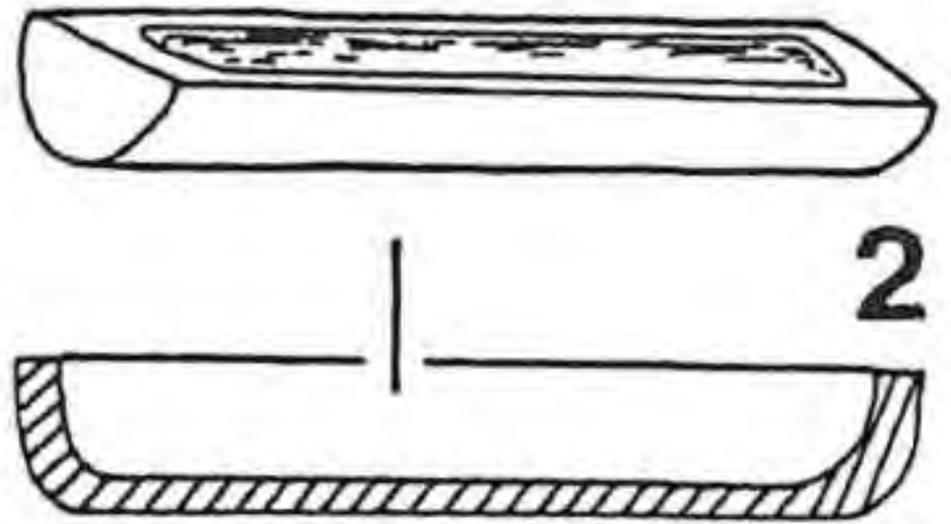
杭状木製品



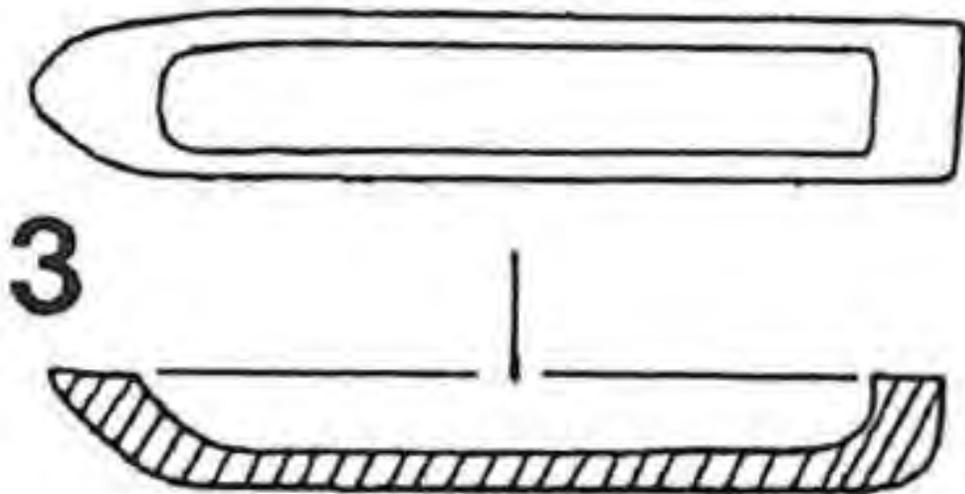
矢摺泥炭層遺跡
(匝瑳市)



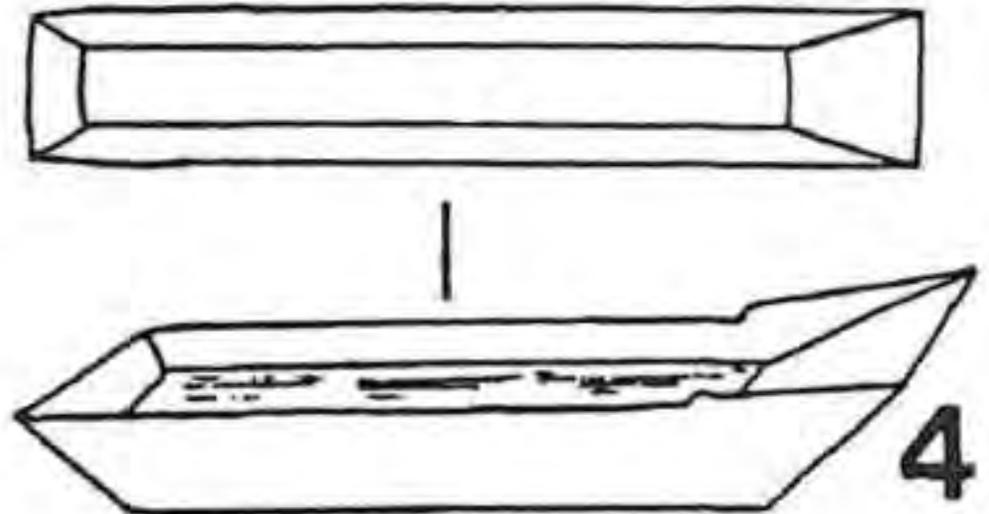
鰹節型



割竹型

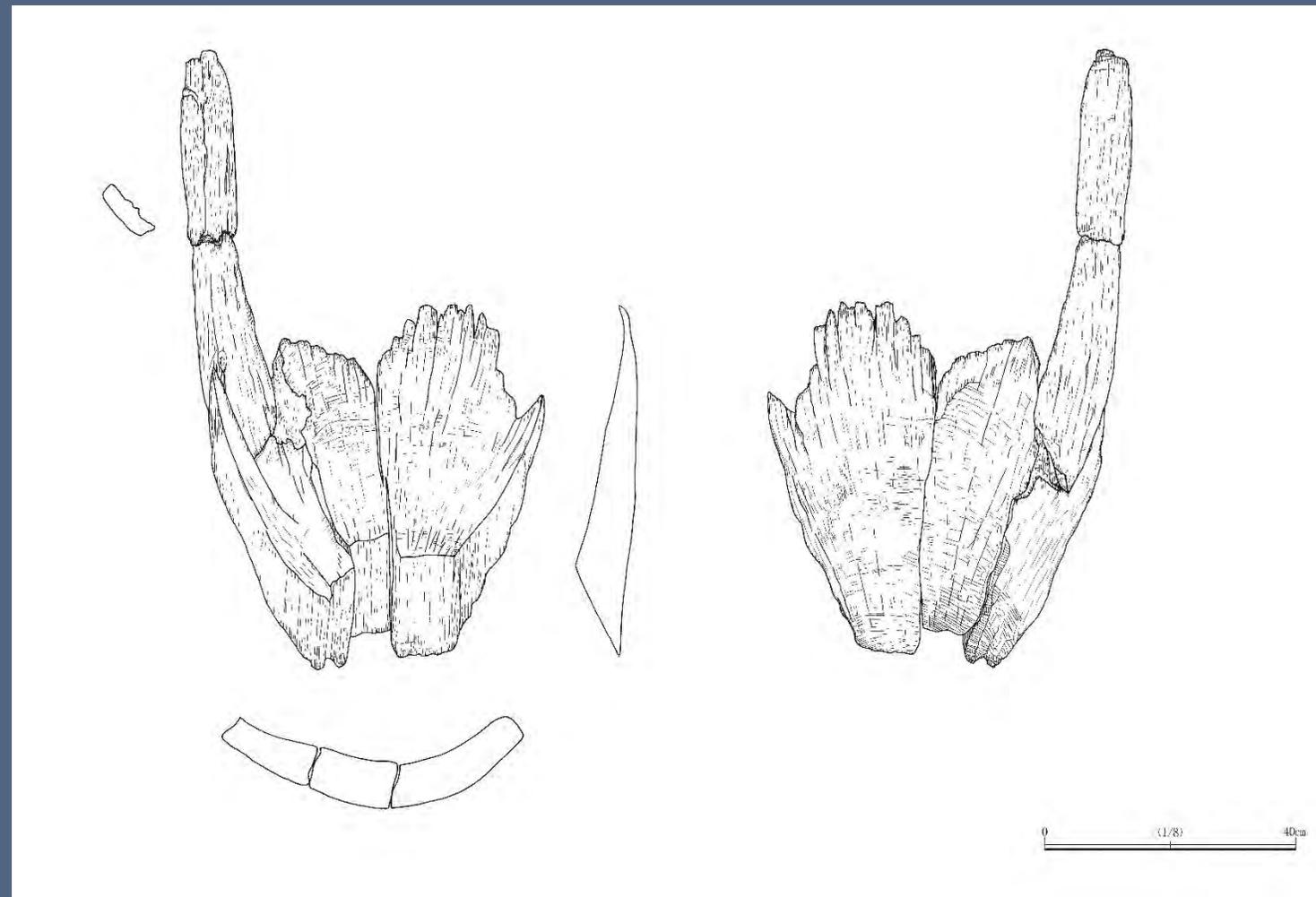


折衷型

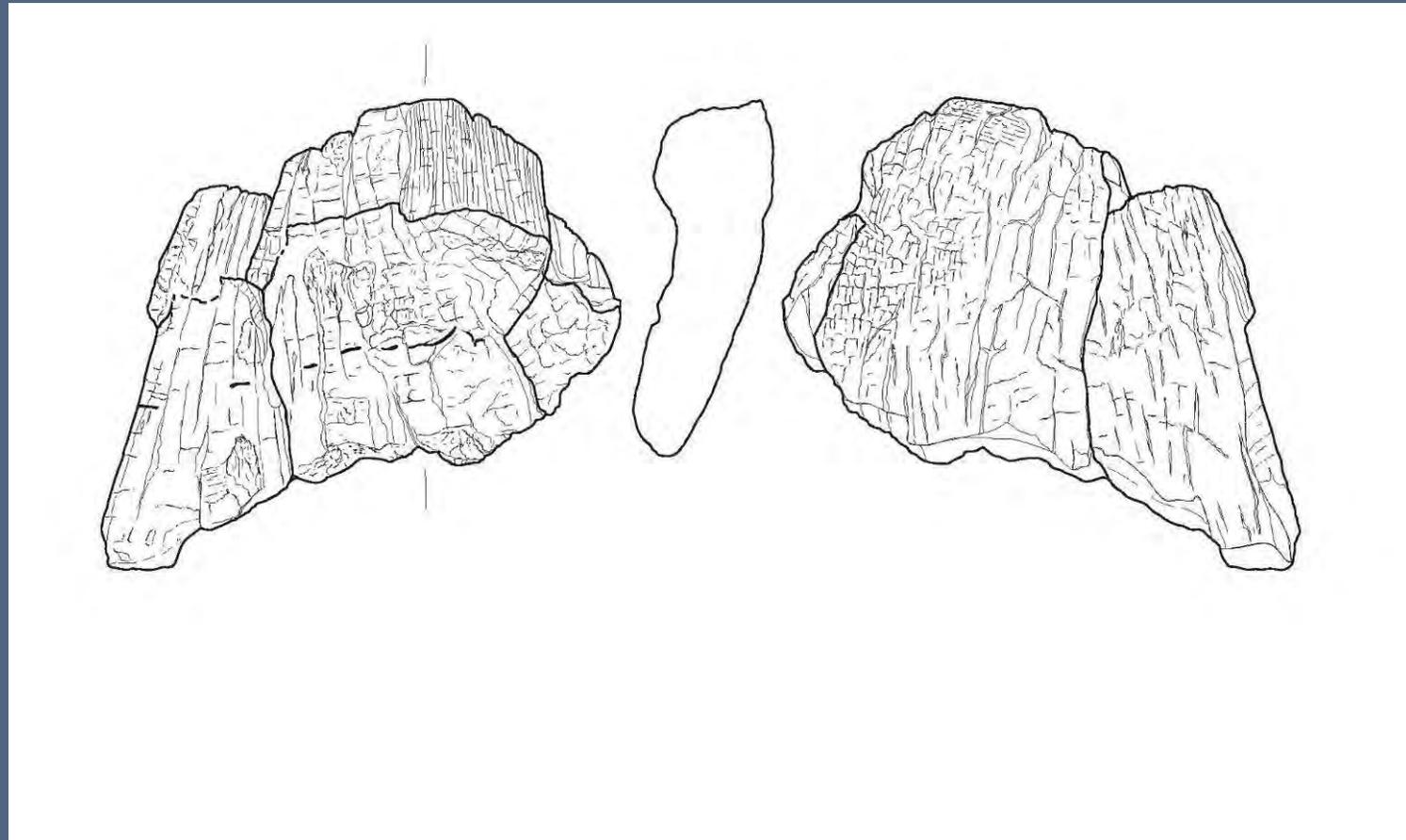


箱型

丸木舟の型式分類



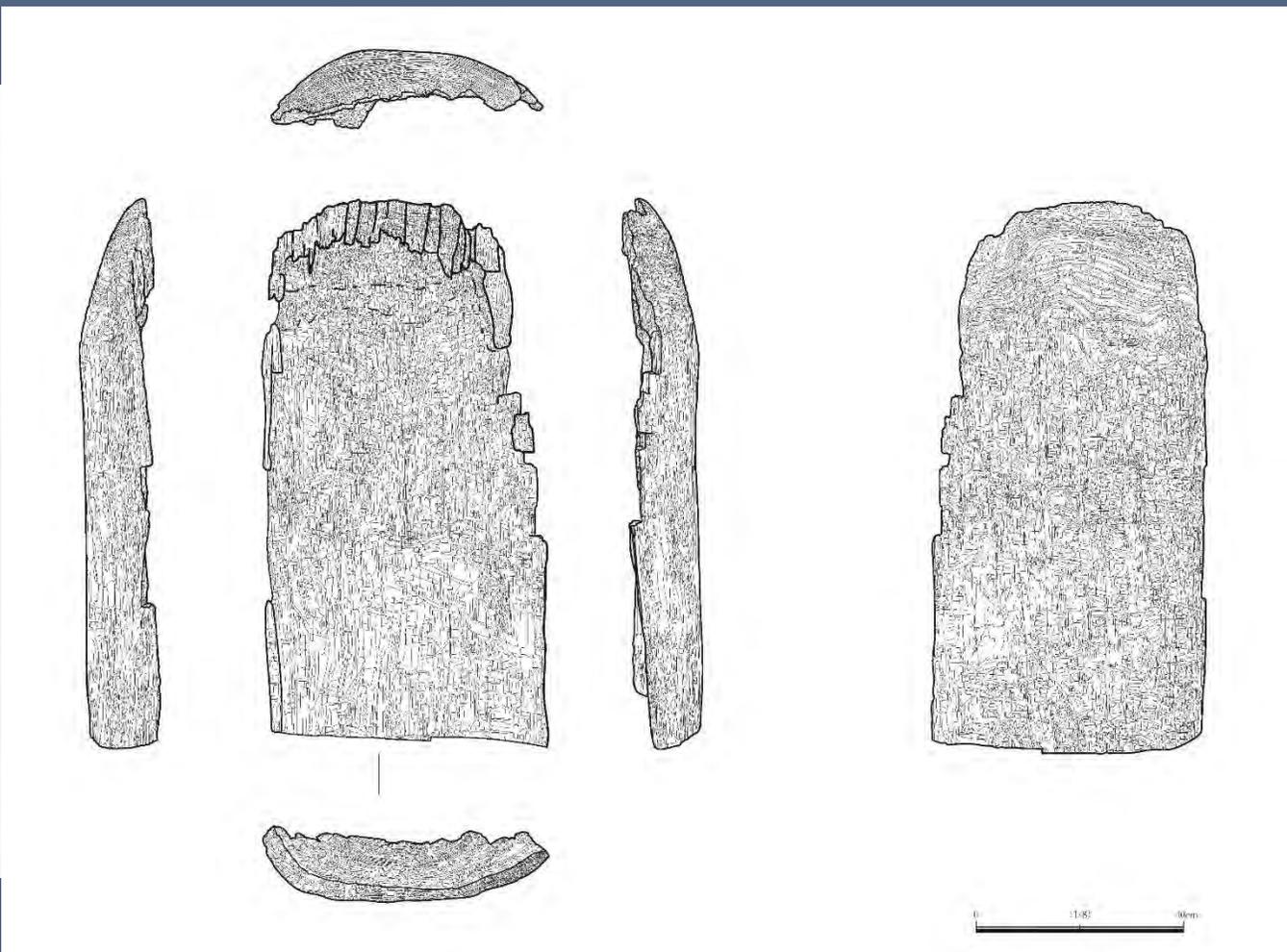
丸木舟舳先 (I区)



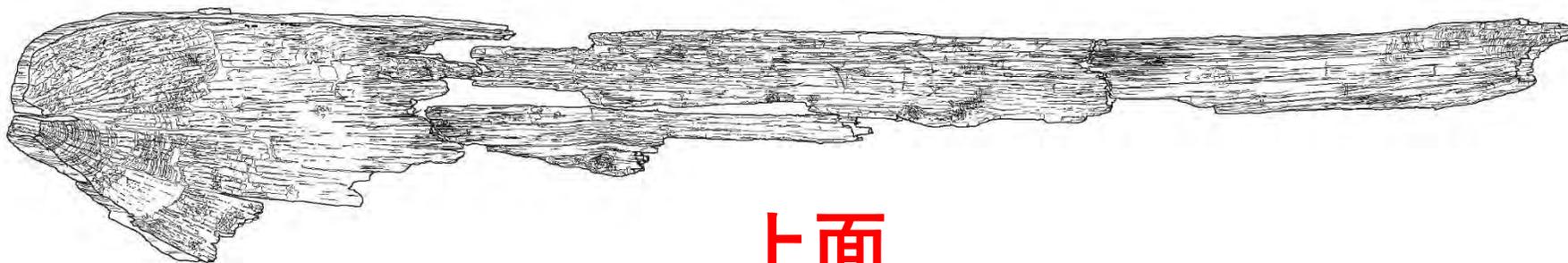
丸木舟 舳先 (Ⅲ区)



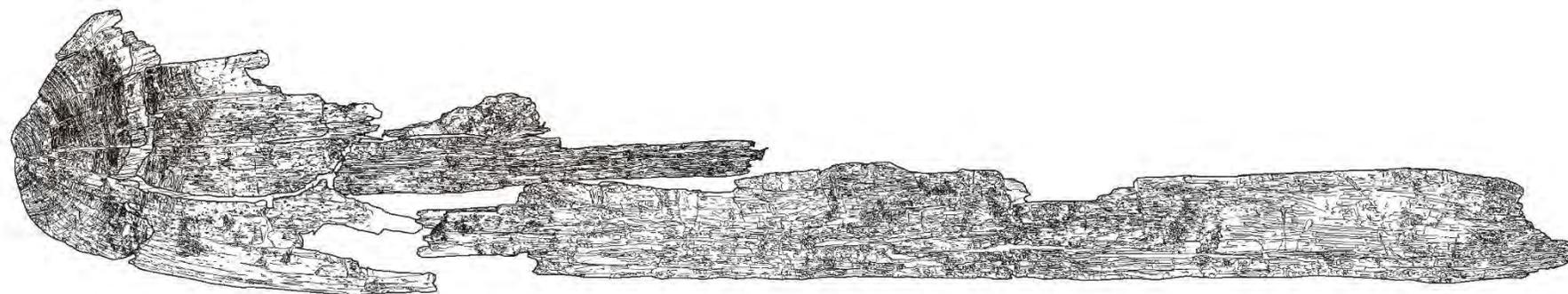
19
(IV区)



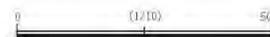
丸木舟舳先 (III区)



上面



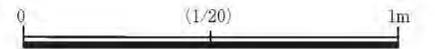
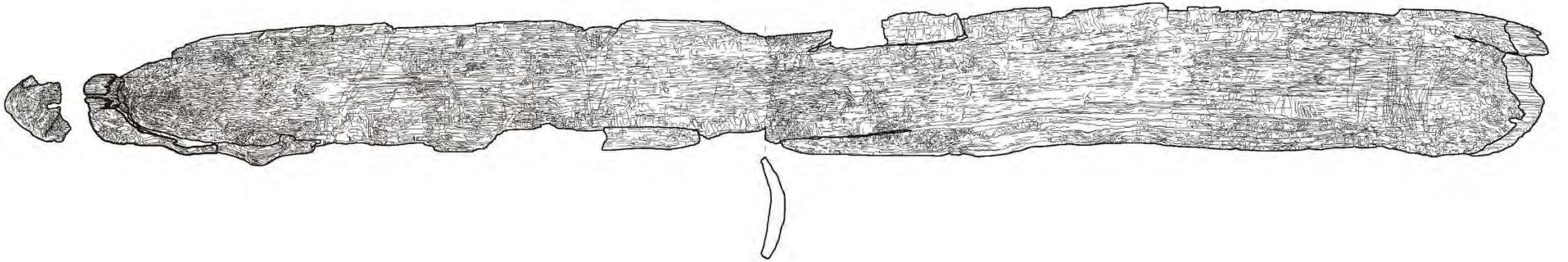
裏面





丸木舟 (IV区)

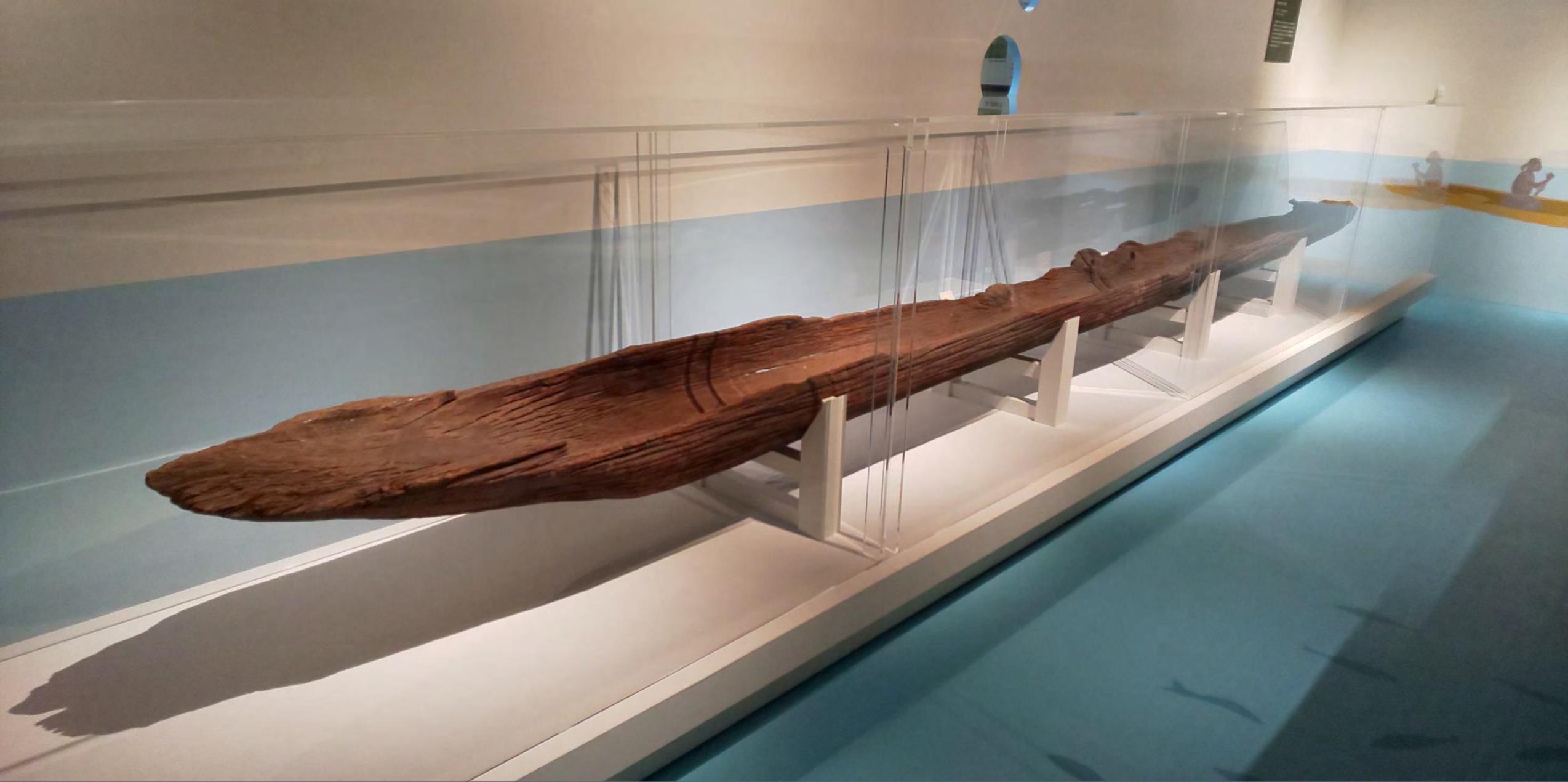
21
(IV区)





落合遺跡

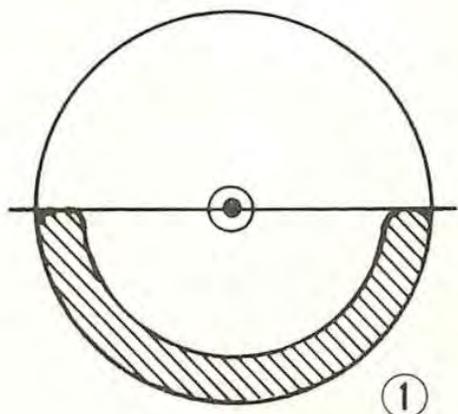
千葉市花見川区



東京都北区中里貝塚

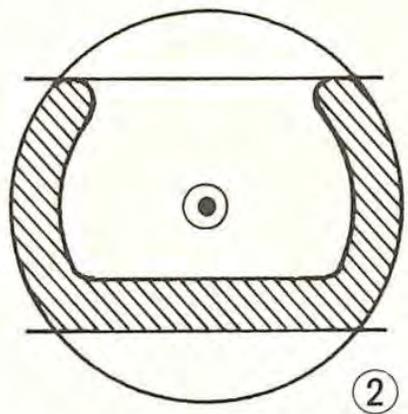
多古田低地遺跡の丸木舟

－丸木舟製作の痕跡－



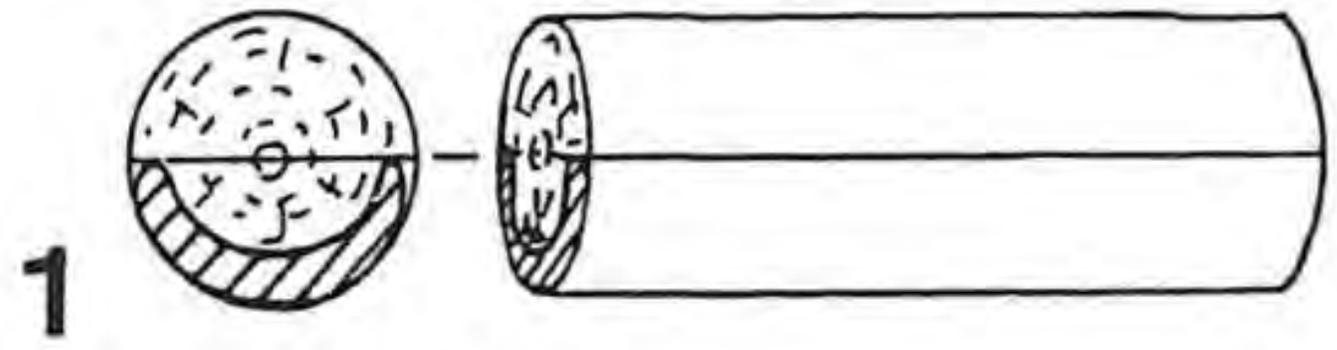
①

鯉節型

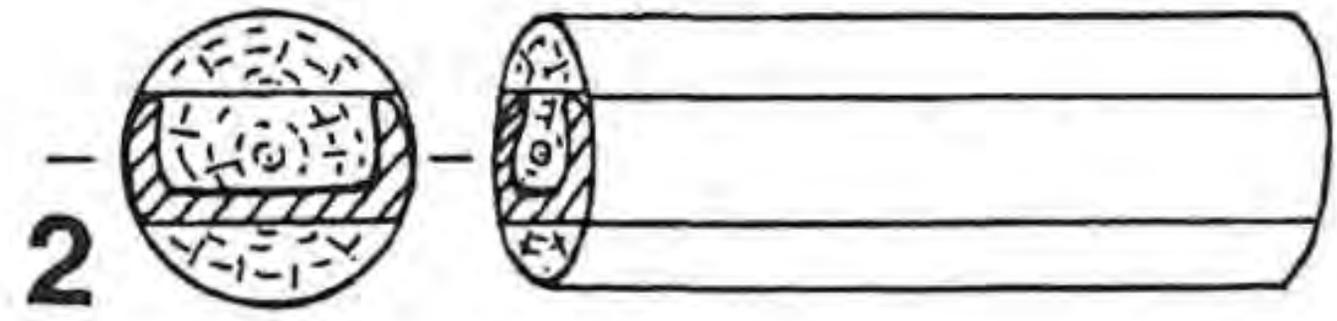


②

折衷型の一種

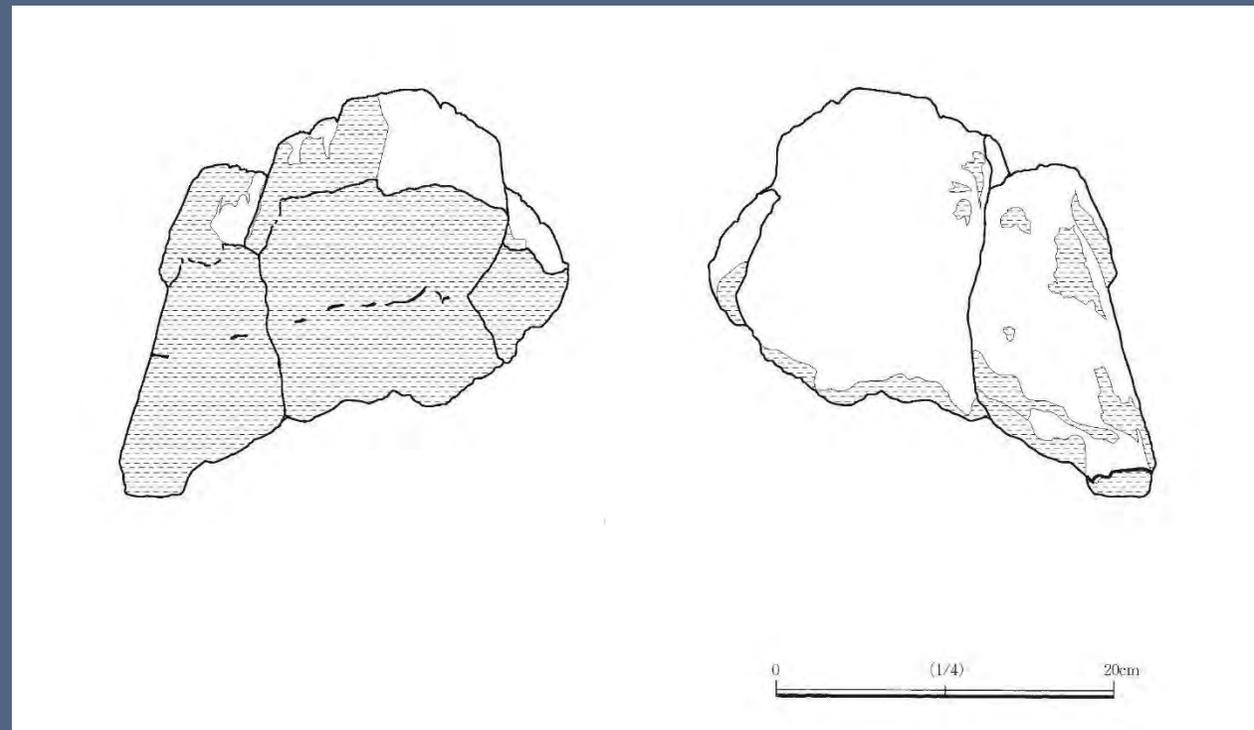
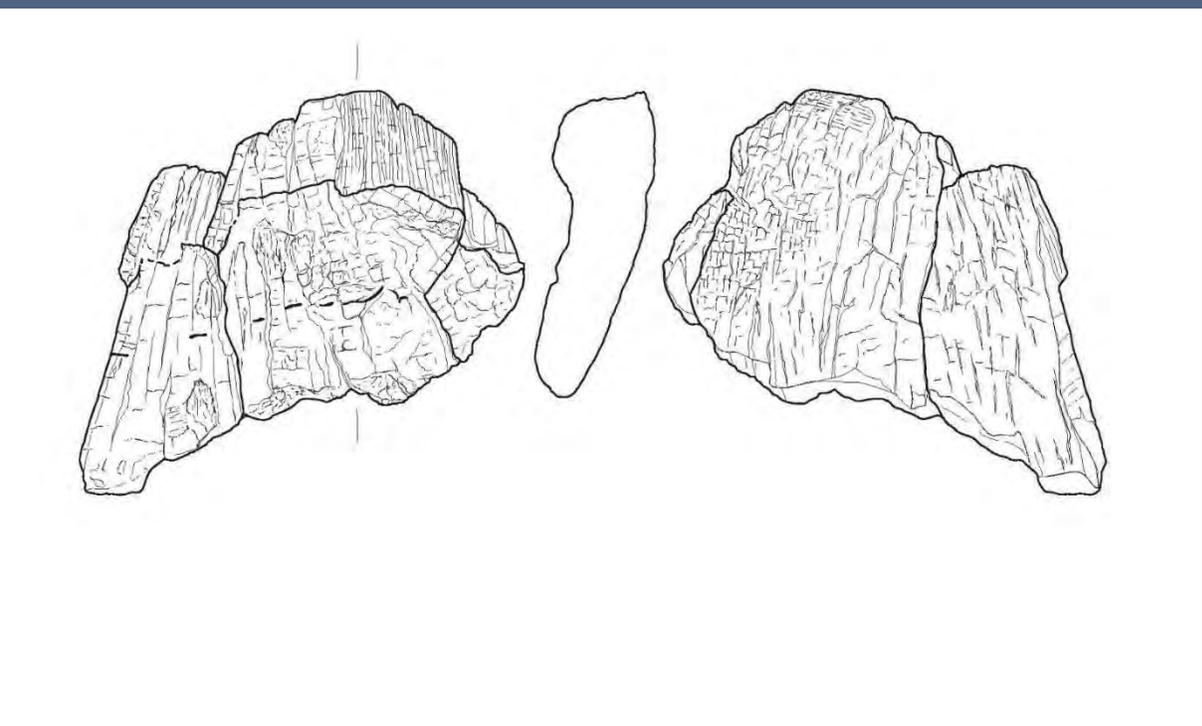


1



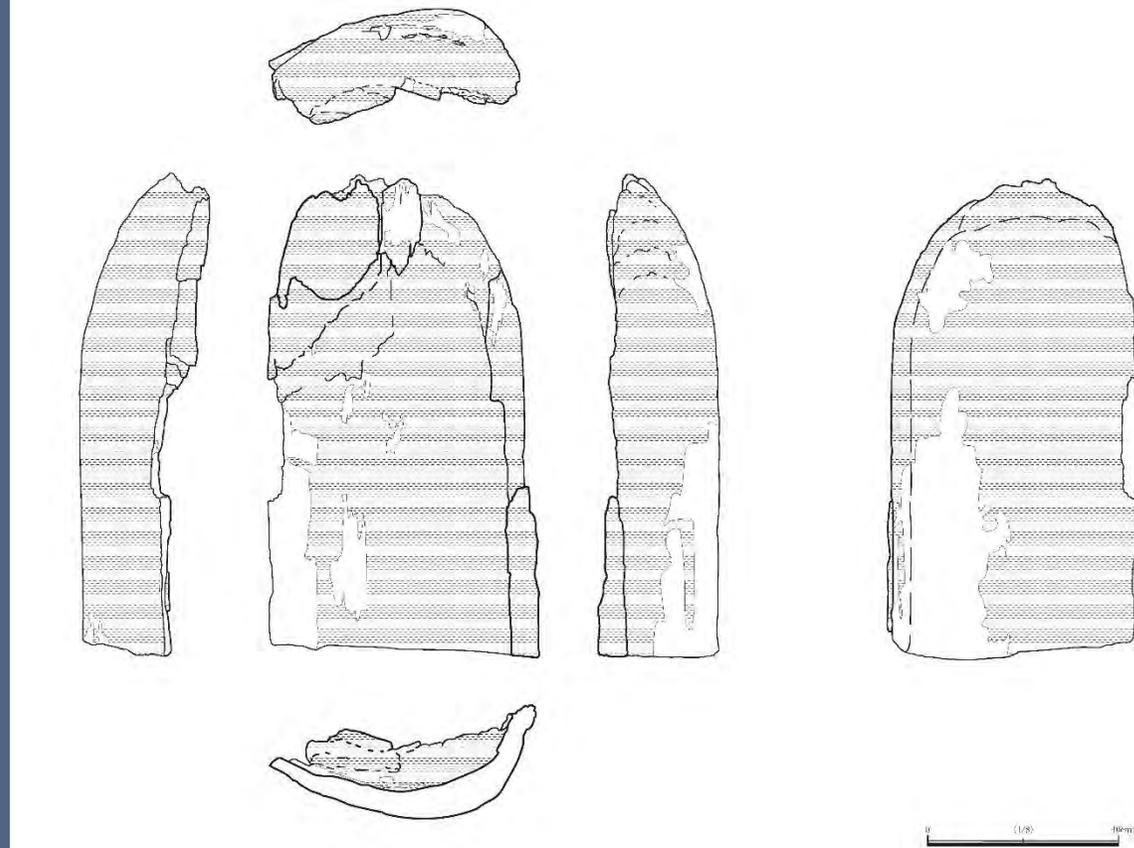
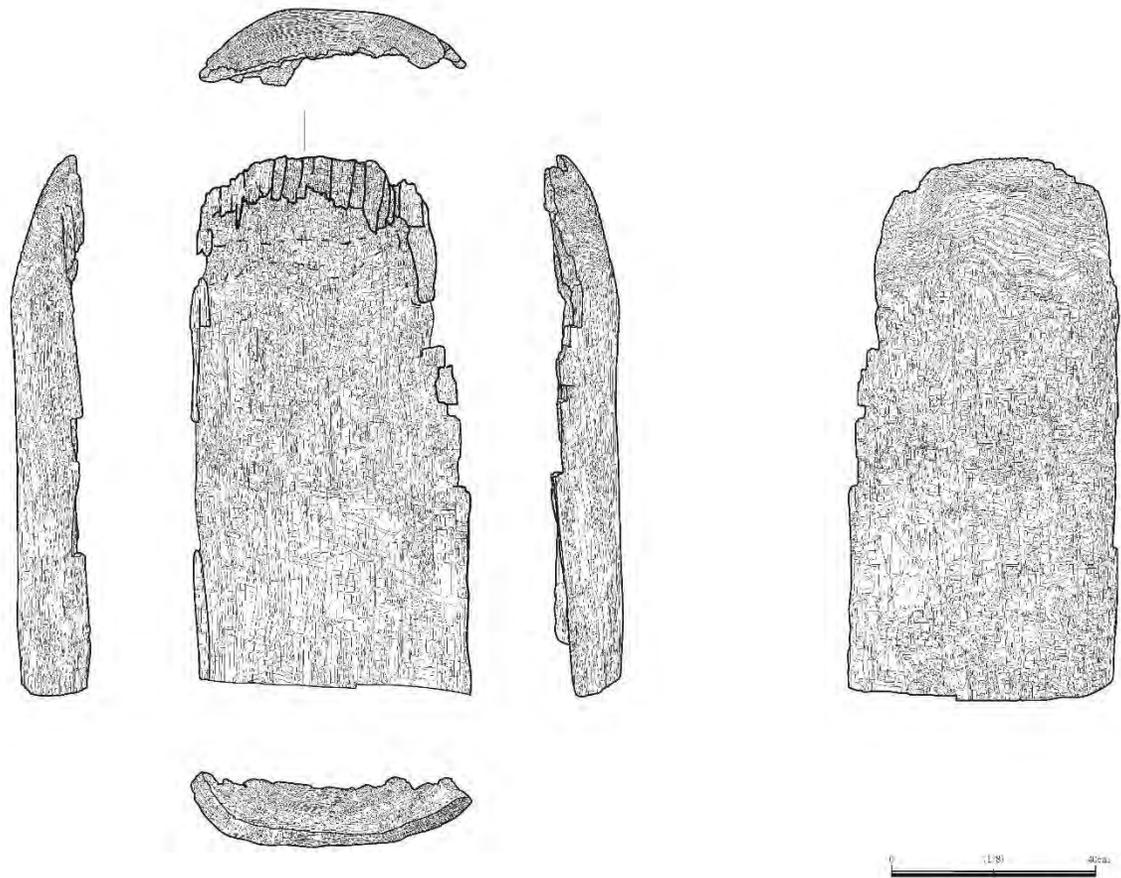
2

二種の木取り法



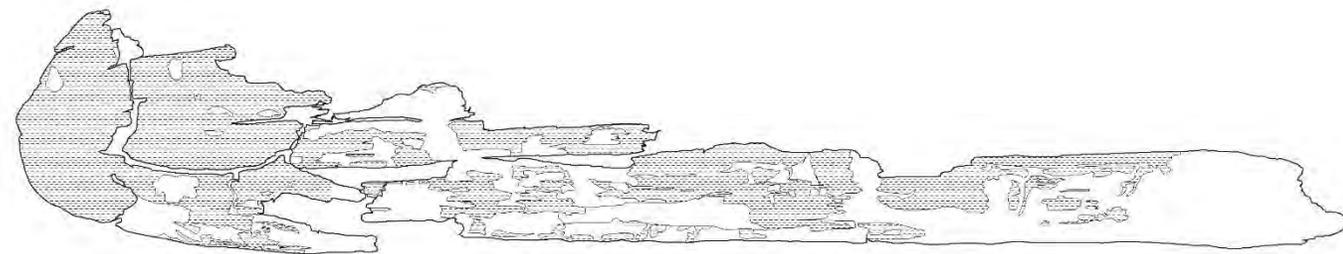
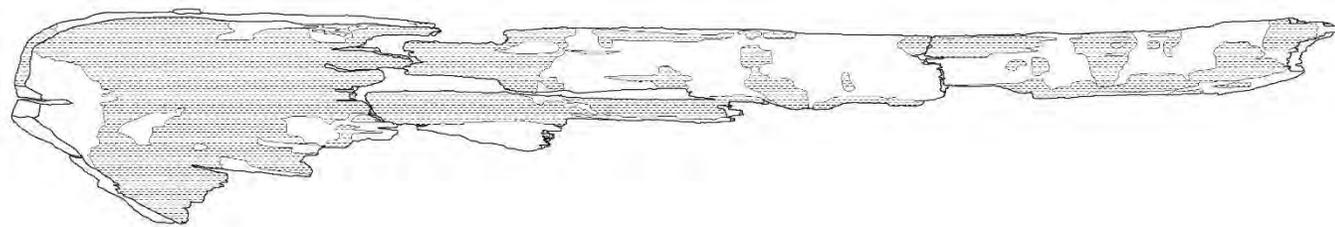
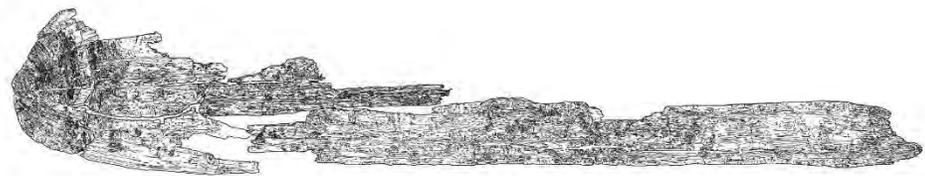
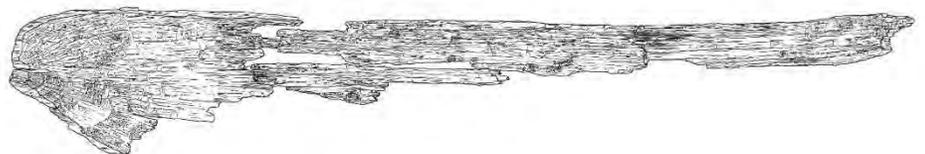
炭化範囲

丸木舟 舳先 (Ⅲ区)



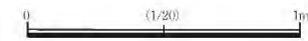
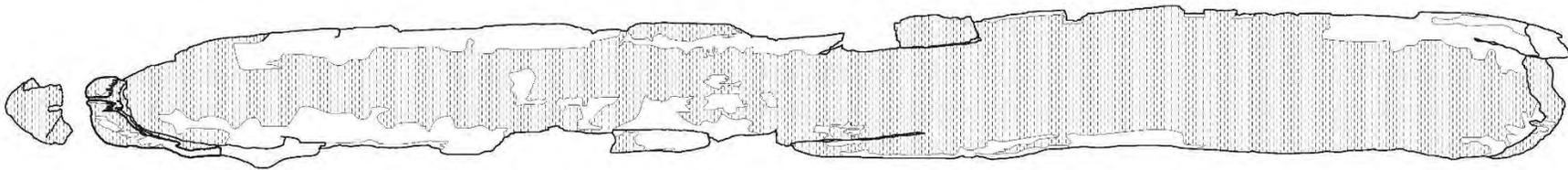
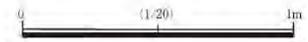
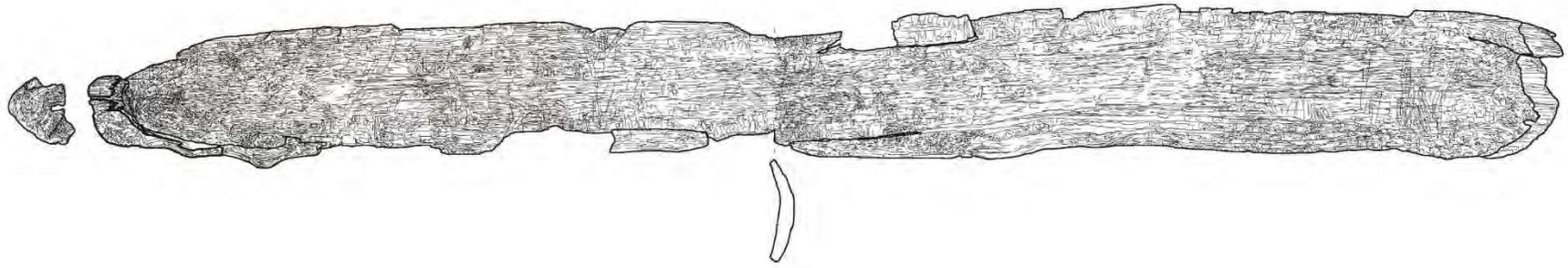
炭化範囲

丸木舟舳先 (III区)



炭化範圍

丸木舟 (I区)



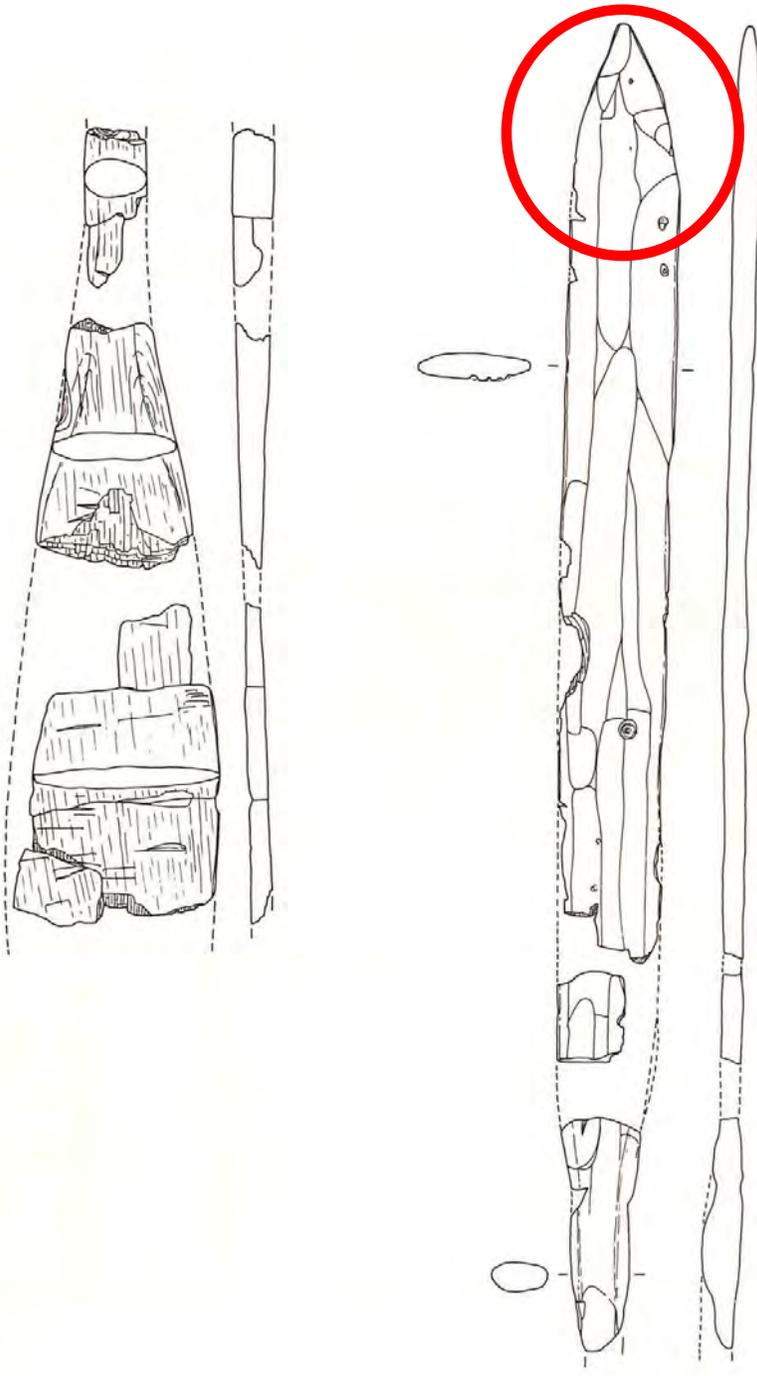
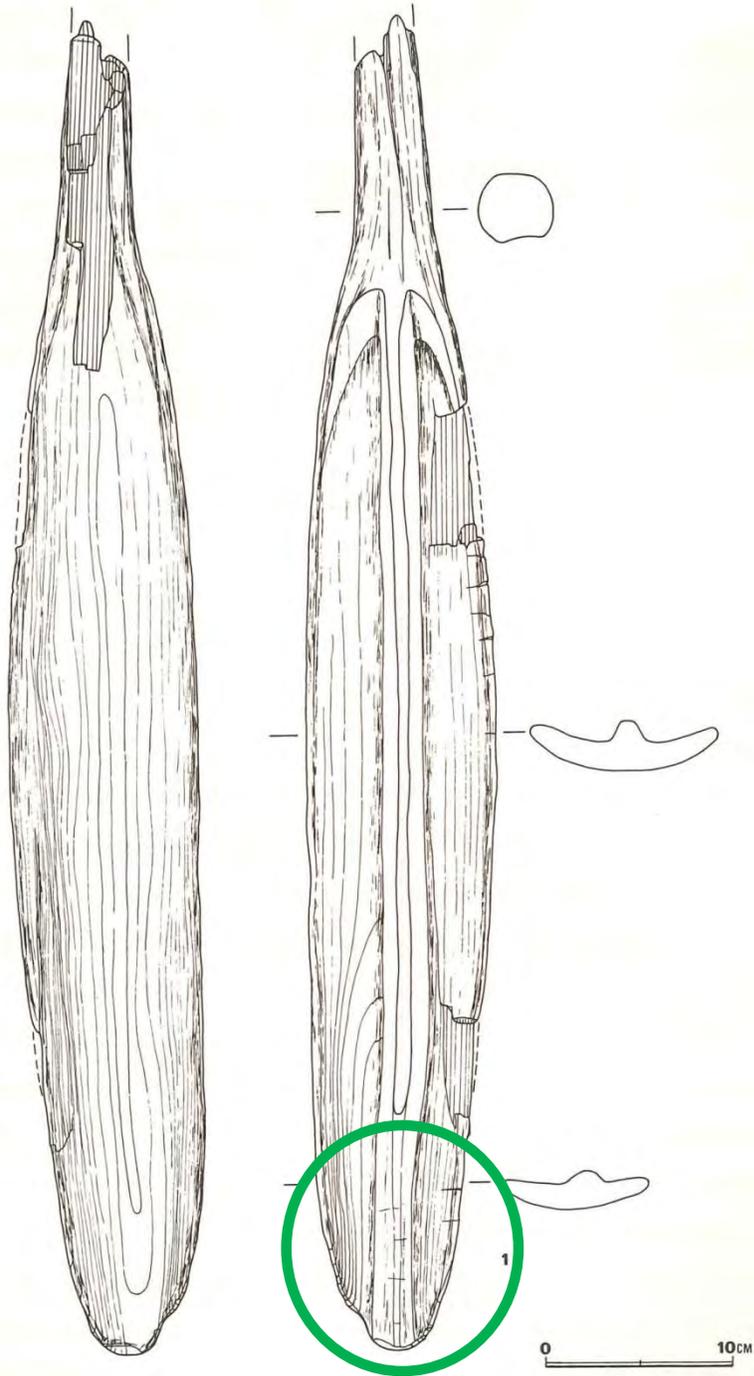
炭化範囲

丸木舟 (IV区)

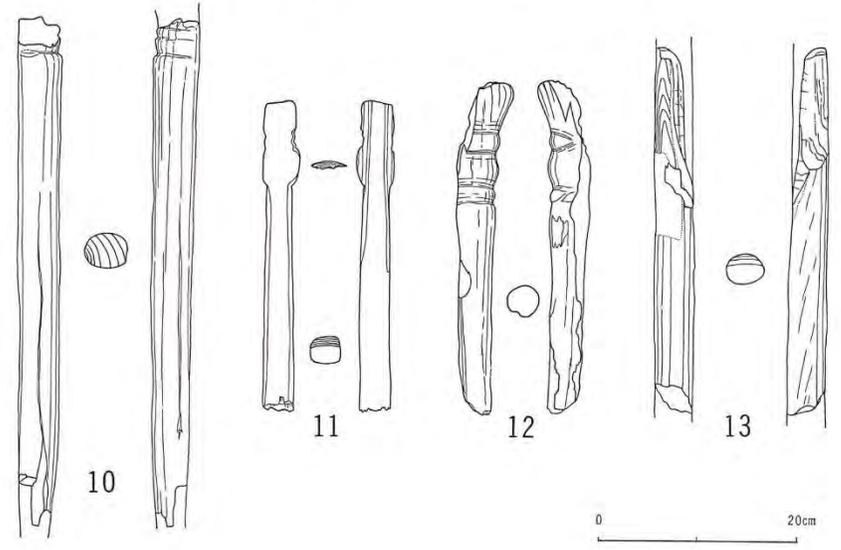
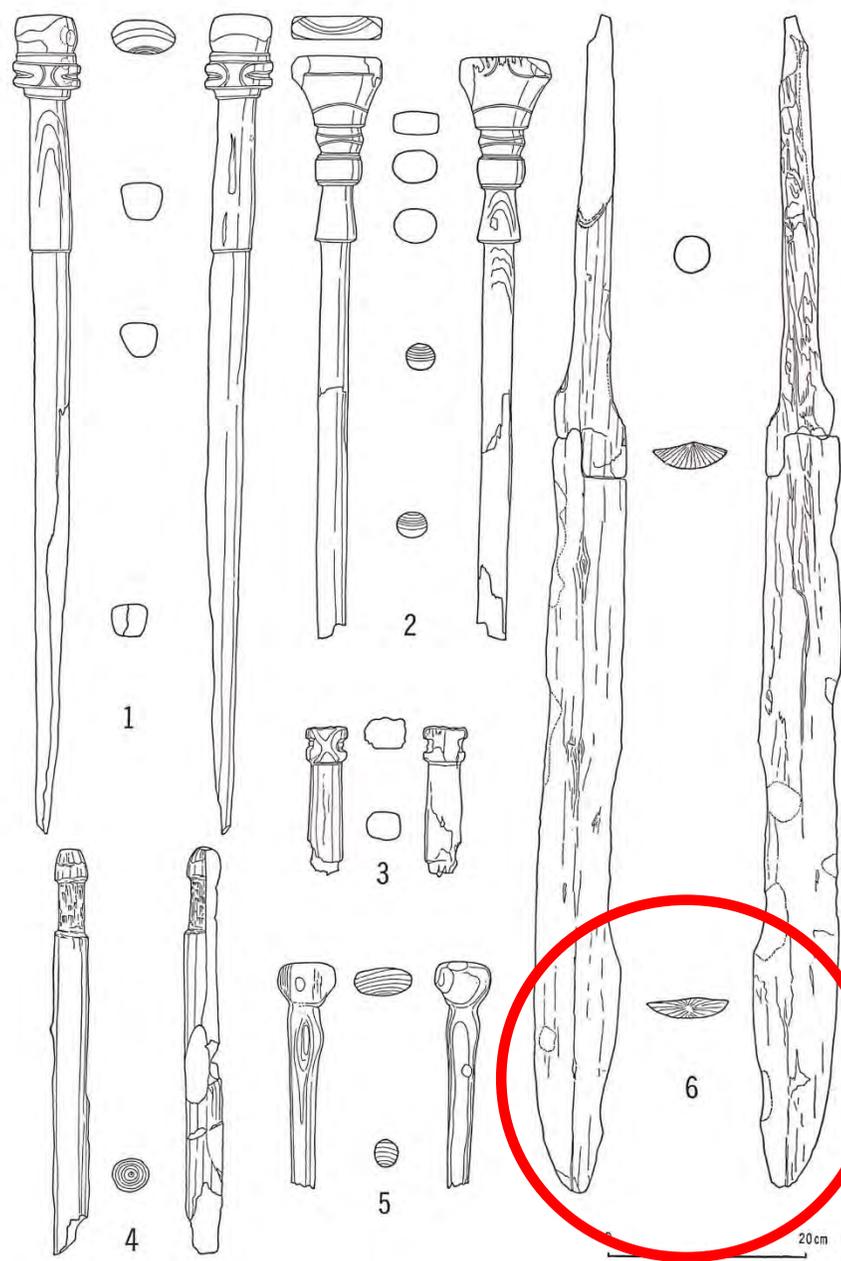
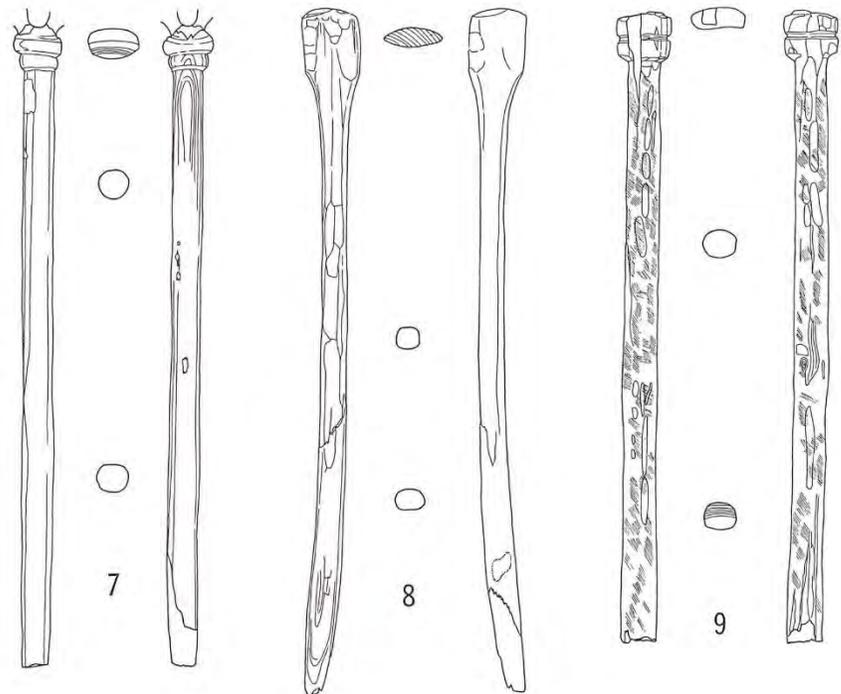
權について



多古田低地遺跡の櫂



宮田下泥炭層遺跡（匝瑳市）
借当川流域



多古田低地遺跡の櫂（慶応大学調査）

多古田低地遺跡を取り巻く環境

縄文時代の海岸線



多古田低地遺跡

6,500年前
(縄文時代早期)

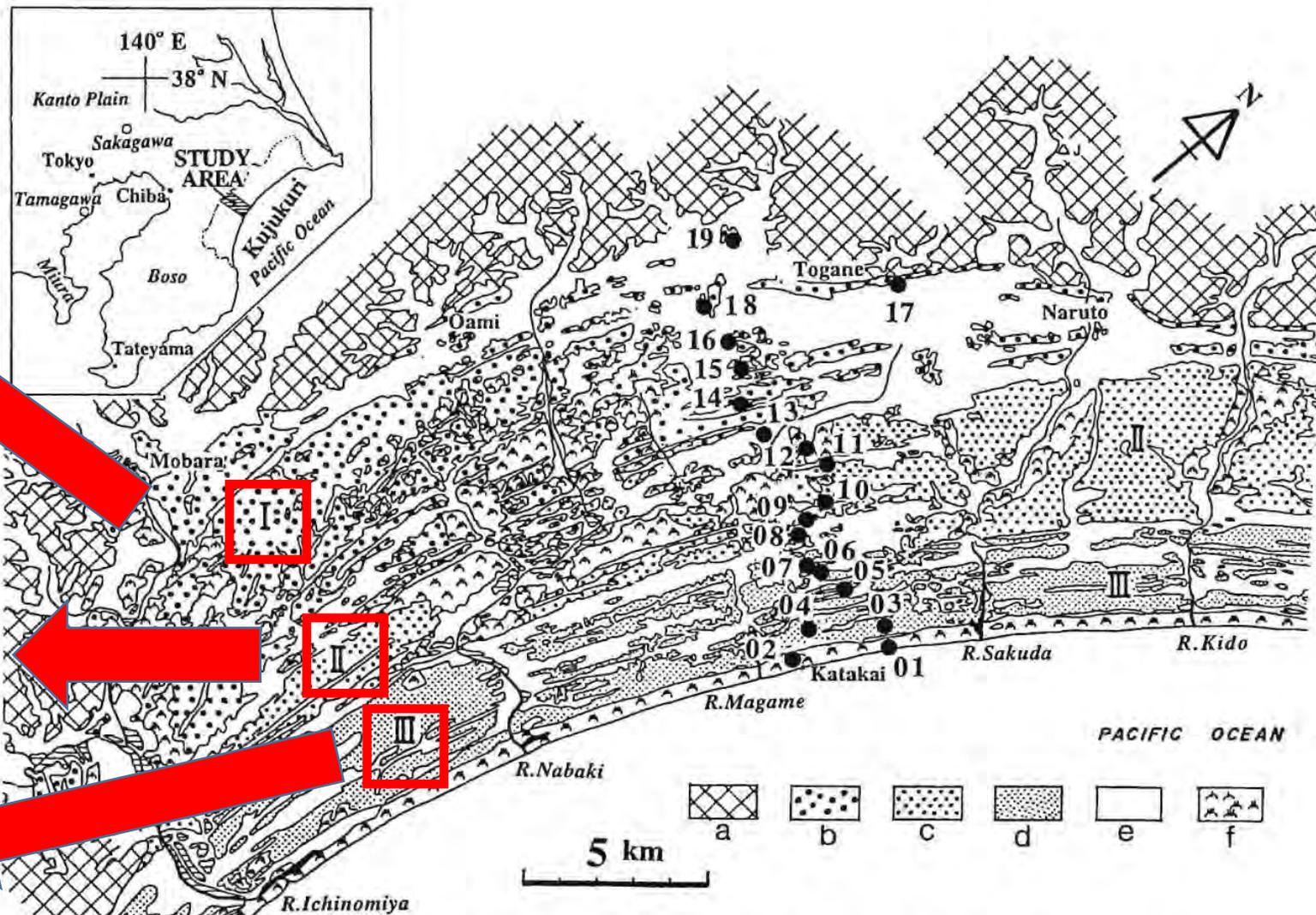


6, 500年前 (縄文時代早期)

縄文中期
(5,000年前)
に陸地化

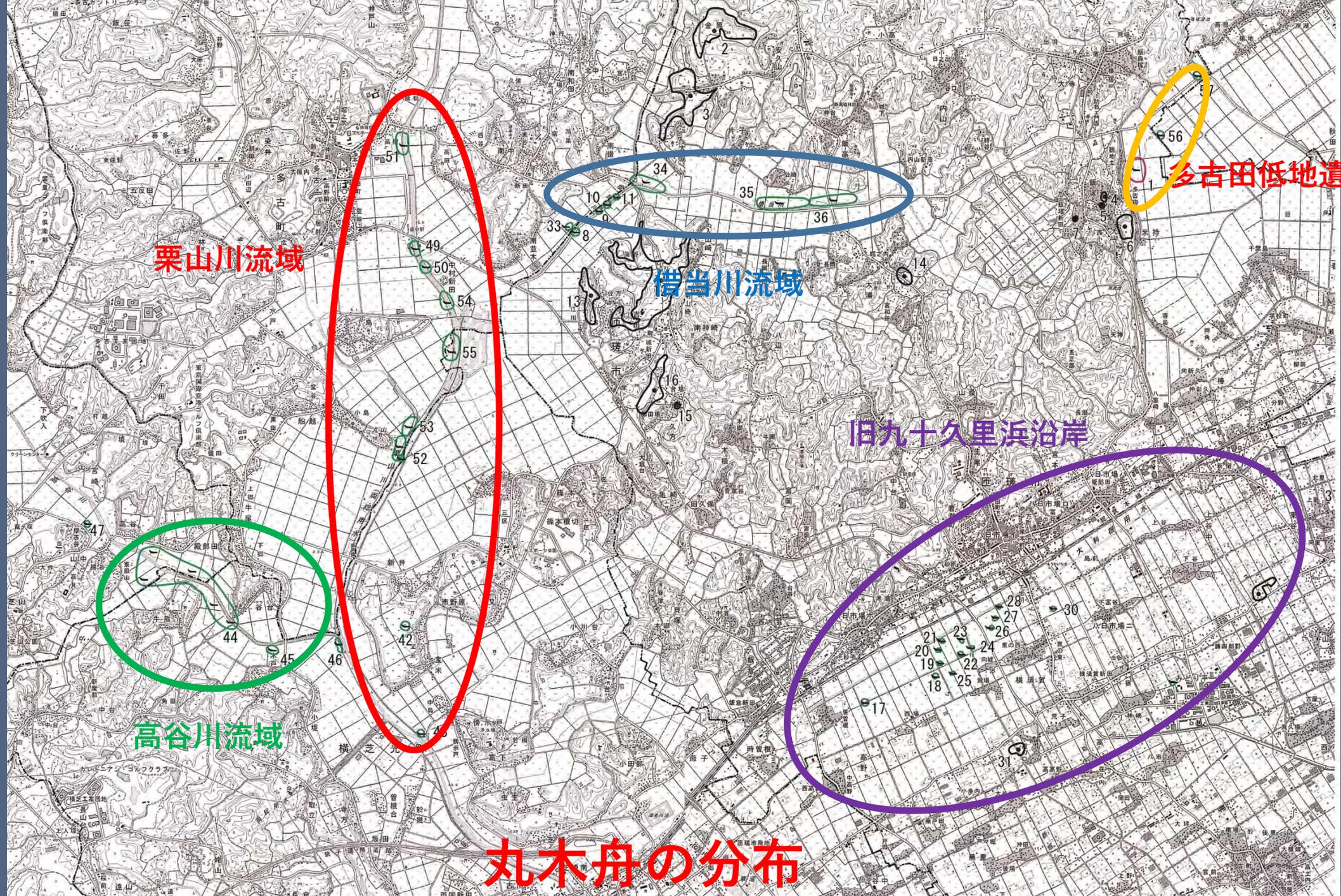
縄文後期
(4,000年前)
に陸地化

古墳時代
(1,500年前)
に陸地化



九里浜

九十九里浜平野真危川流域における掘削地点（黒丸：地点01～19）。
地形区分図は森脇（1979）を使用。a：台地（基盤）、b：第1砂堤群（I）、c：第2砂堤群（II）、d：第3砂堤群（III）、e：潟跡・砂堤間低地・氾濫原など、f：砂丘。I、II、IIIは森脇（1979）による砂堤群区分。



栗山川流域

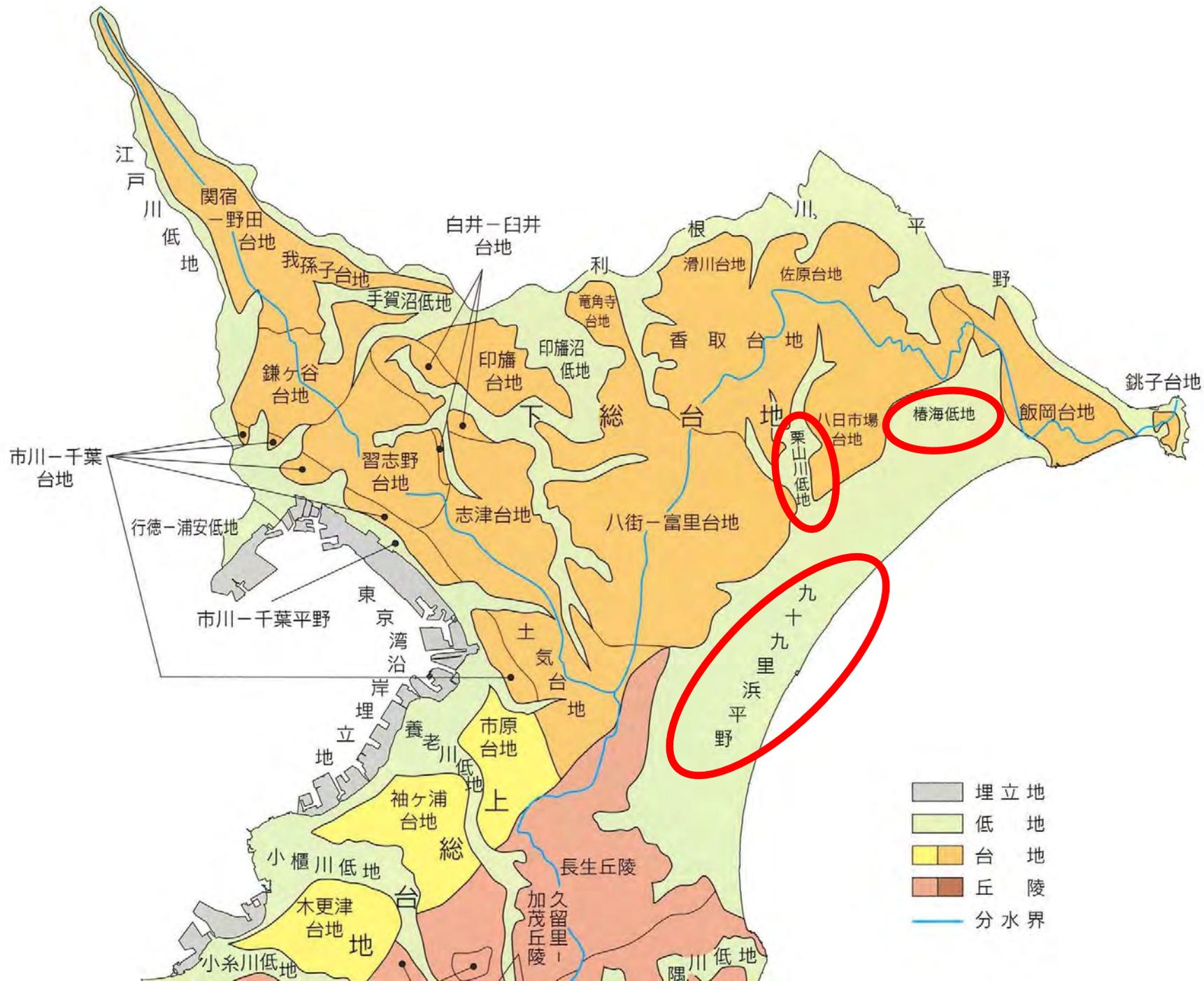
借当川流域

高谷川流域

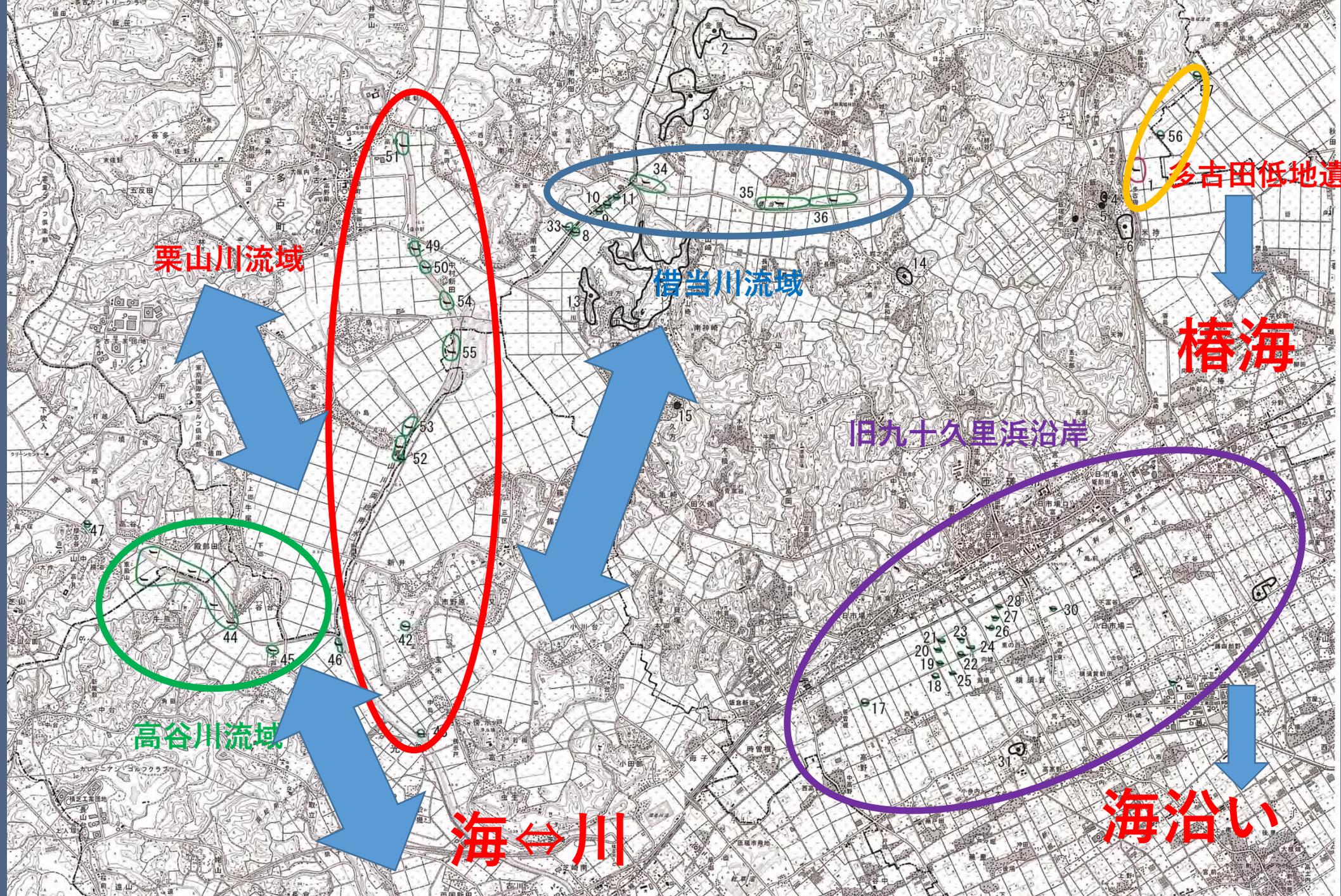
旧九十久里浜沿岸

多吉田低地遺跡

丸木舟の分布



地域地形区分図



栗山川流域

借当川流域

旧九十久里浜沿岸

高谷川流域

海⇔川

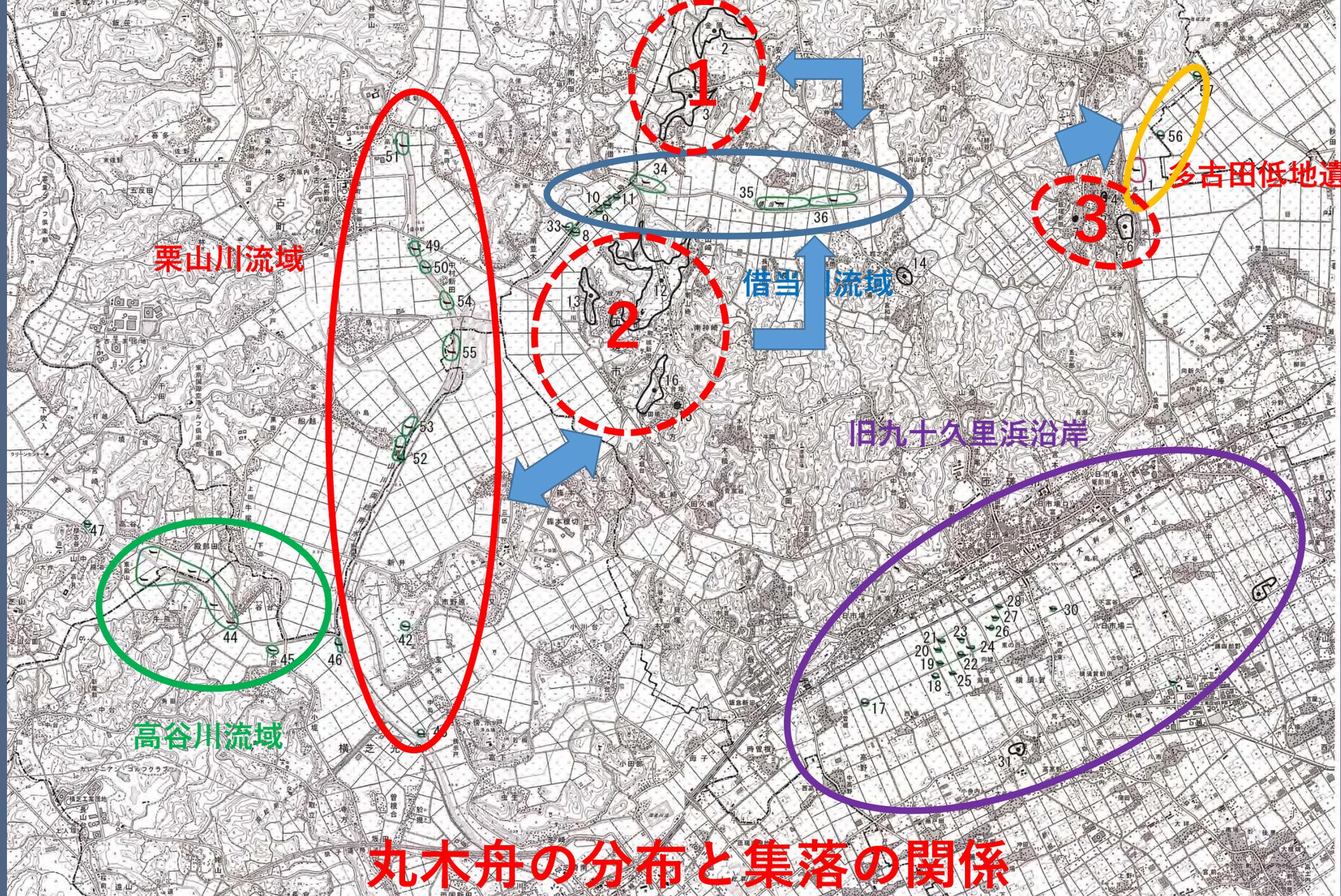
多吉田低地遺跡

樁海

海沿い



多古田低地遺跡の櫂 ➡ 突き刺して前進? ➡ 外洋×



栗山川流域

高谷川流域

借当流域

旧九十久里浜沿岸

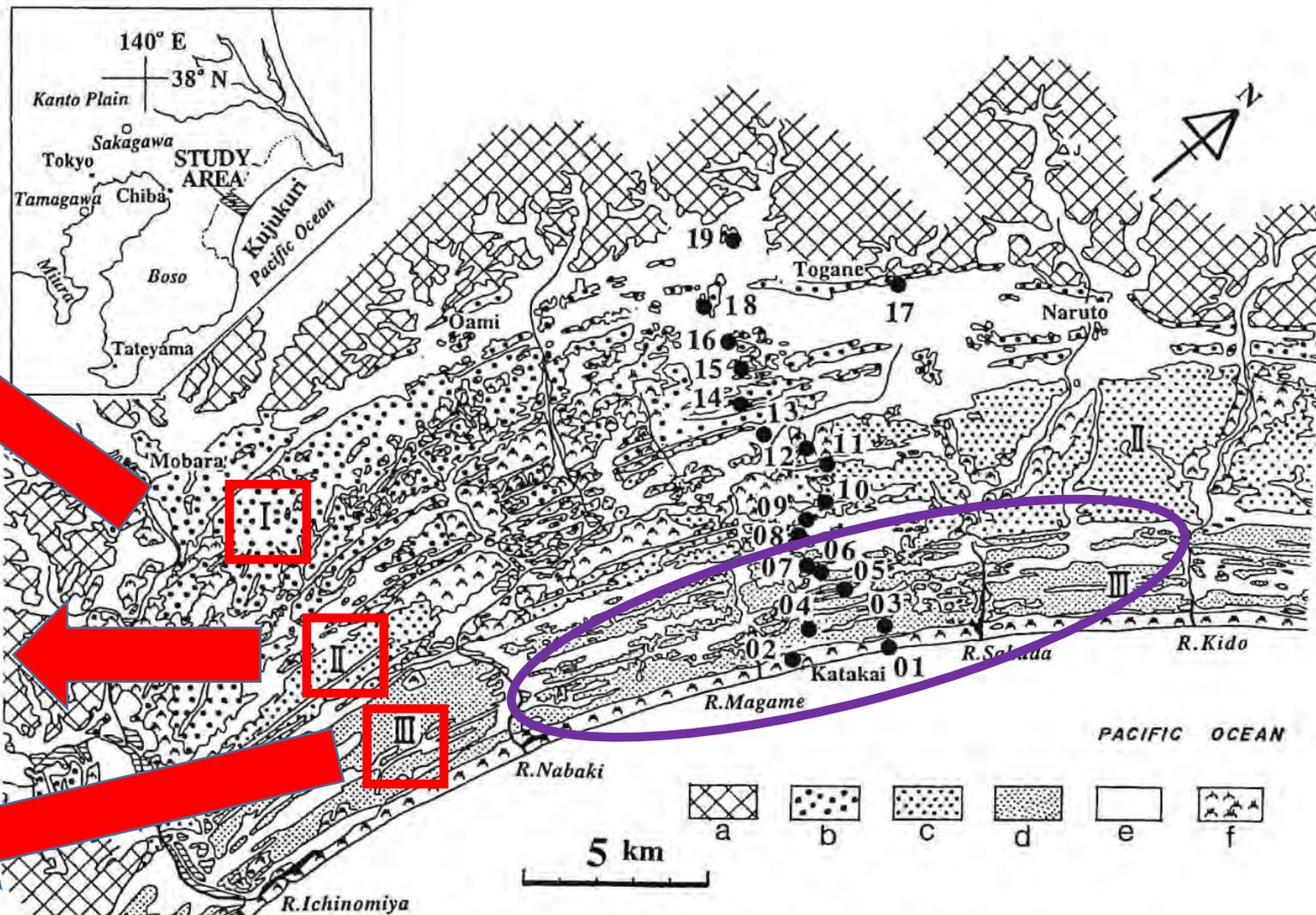
多吉田低地遺跡

丸木舟の分布と集落の関係

縄文中期
(5,000年前)
に陸地化

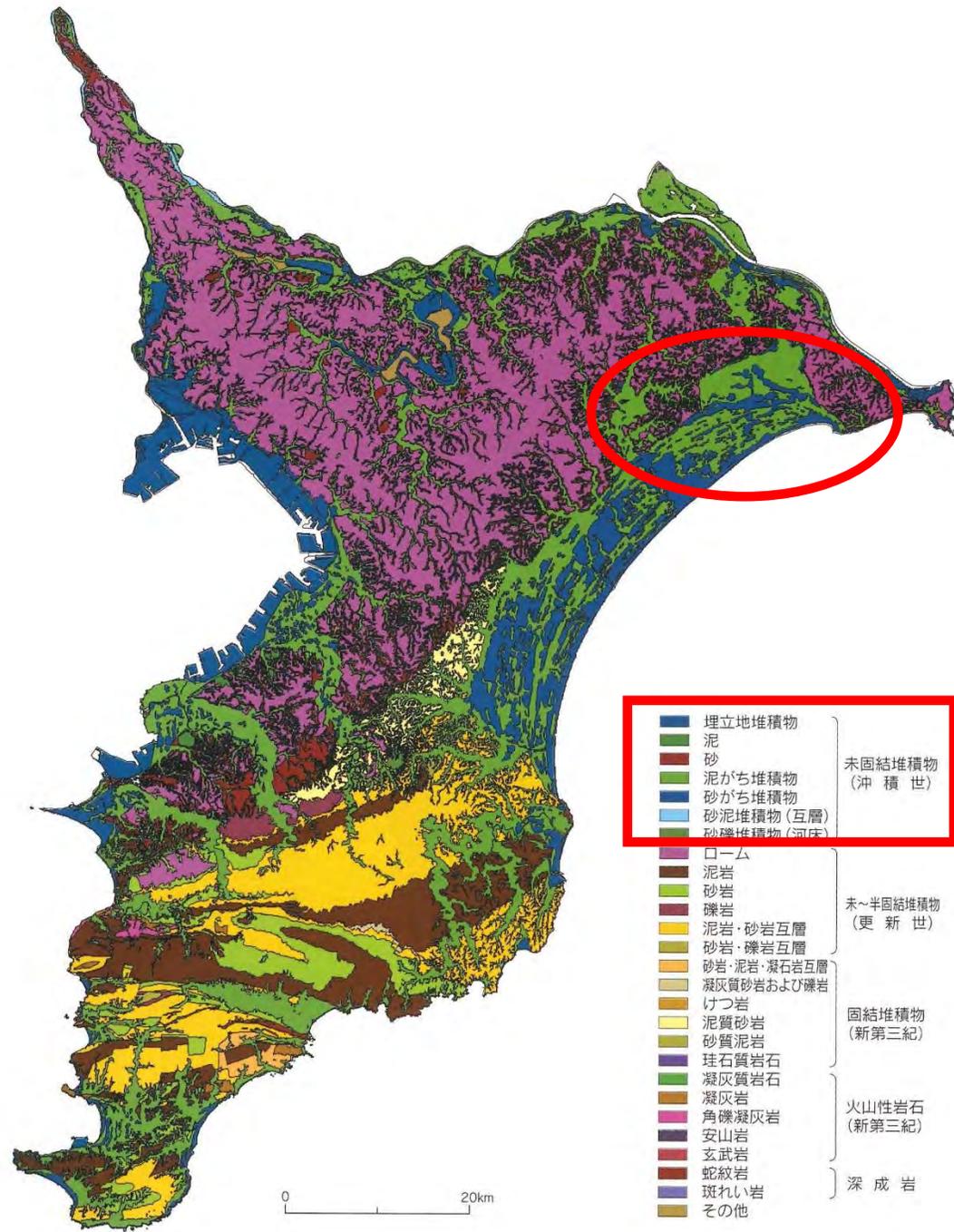
縄文後期
(4,000年前)
に陸地化

古墳時代
(1,500年前)
に陸地化



九十九里浜平野真危川流域における掘削地点（黒丸：地点01～19）。
地形区分図は森脇（1979）を使用。a：台地（基盤）、b：第1砂堤群（I）、c：第2砂堤群（II）、d：第3砂堤群（III）、e：潟跡・砂堤間低地・氾濫原など、f：砂丘。I、II、IIIは森脇（1979）による砂堤群区分。

九十九里浜



表層地質図



栗山川

旧椿海

洪水分布図

多古田低地遺跡の食生活



アカニシ



イチョウシラトリ



イボウミニナ



カキ



バカガイ



ハマグリ



ビノスガイ



貝 刃
ビノスガイ



ヒシ



クルミ



トチ



ドングリ



クリ





1～10 ニホンジカ



11・13・14・15 イノシシ
 12 ノウサギ
 16 カモ
 17 ウミガメ
 18 ハクジラ
 19 スズキ



シカ



イノシシ



ウサギ



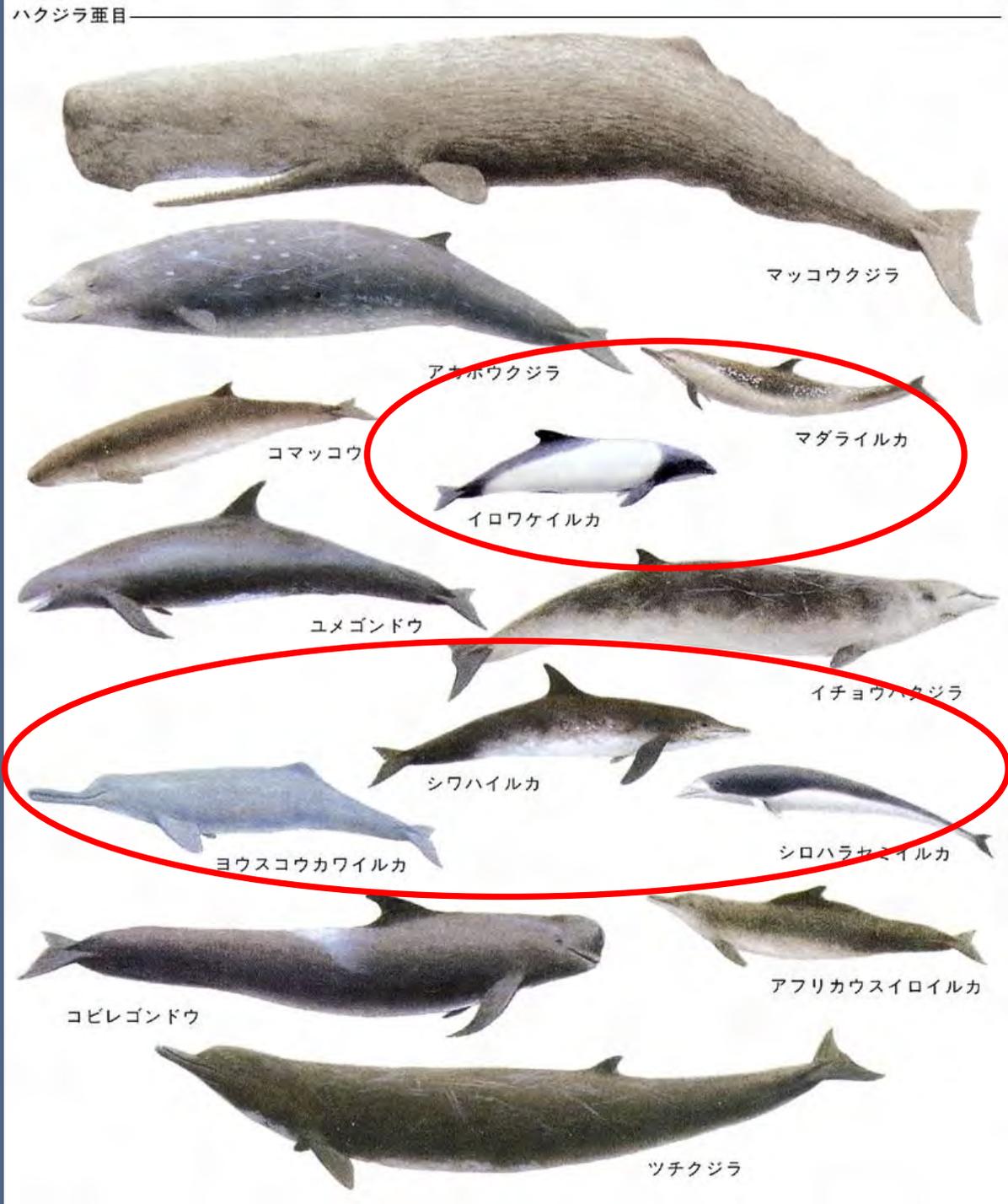
カモ



ウミガメ



スズキ



多古田低地遺跡の性格

1. 主体となる時期

多古田低地遺跡で出土した土器とその年代

| 時期 | 土器型式 | 年代 | 主な出土地 |
|----|------------------|---------|-------|
| 早期 | 撚糸文系 | 9,000年前 | 関東 |
| | 沈線文系 | 8,000年前 | 関東 |
| | 条痕文系 | 7,000年前 | 関東 |
| 前期 | 関山式・黒浜式・浮島式・下小野式 | 6,500年前 | 関東 |
| 中期 | 加曾利E式 | 5,000年前 | 関東 |
| 後期 | 称名寺式 | 4,700年前 | 関東 |
| | 堀之内式 | 4,500年前 | 関東 |
| | 加曾利B式 | 3,800年前 | 関東 |
| | 曾谷式 | 3,500年前 | 関東 |
| | 安行1式 | 3,600年前 | 関東 |
| | 安行2式 | 3,500年前 | 関東 |
| | 安行3a式 | 3,300年前 | 関東 |
| 晚期 | 安行3b式 | 3,200年前 | 関東 |
| | 安行3c式 | 3,000年前 | 関東 |
| | 前浦式 | 2,900年前 | 関東 |

| 土器型式 | 主な出土地 |
|-------|-------|
| 三十稻場式 | 東北地方 |
| 大洞BC式 | 東北地方 |
| 大洞C2式 | 東北地方 |



慶応大学調査時



今回の調査

※東北地方との交流がある

※慶応大学の成果より時期が古い

||

※丸木舟の時期も古い

出土土器からみる主体となる時期

2. 日常に特化した遺跡



特徴



黒く煤けた土器が多く、炭化物が内外面に付着している

||

常に日常的に使用している

異形台付土器

多古田低地遺跡出土の土器群 = 縄文時代後・晩期が主体



土偶



独鈷石



石剣

石棒

祭祀具

||

第2の道具



X



日常に特化



3. 多古田低地遺跡の元風景



丸木舟を繫留

土器を使用した
食事（簡易的）





北海道 知床 赤岩